

## 第2編 男女共同参画中学生意識調査

### I 調査方法

調査対象：市内の市立中学校の2年生

有効回収数：732人（女性254人 男性255人 その他2人 無回答221人）

実施期間：令和4年11月

### II 調査結果のまとめ（集計・分析）

#### 1. あなた自身について

- ・男女は、ほぼ同じ割合になっています。

#### 2. 男女平等と性別役割分担意識について

（男女平等の意識）

- ・性別に関わらず、5割以上が否定的にとらえている項目は、「学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうに向いている」、「教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうに向いている」、「いろいろな場面で、男子より女子のほうが甘やかされている」、「いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている」の4項目となっています。

（家庭でのお手伝い）

- ・家庭でのお手伝いについて、女性の方が多くの項目で男性よりもお手伝いをしている割合が高くなっています。

（家事の分担）

- ・家事は、現状「母親」が担っている割合が高くなっていますが、意識では、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が、最も高くなっています。

（男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験）

- ・「男の子だから〇〇しなさい」や、「女の子だから〇〇しなさい」と言われた経験は、女性が5割で、男性の3割より割合が高くなっています。

（男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－①言われる内容）

- ・女性は印象や見た目が求められ、男性はたくましさを求められる傾向があります。

（男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－②言う人物）

- ・性別に関わらず、「母」の割合が最も高くなっています。

（男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－③気持ち）

- ・性別に関わらず、4割が否定的にとらえており、前回調査と比較すると、否定的にとらえている割合が増加しています。

(男女平等の状況)

- ・「家庭生活」や「学校教育の場」では、「平等だと思う」の割合が高くなっていますが、「社会全体の場」では性別に関わらず、“男性優遇”の割合が高くなっています。

(家庭での男女の役割分担)

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方は、性別に関わらず否定的にとらえている割合が高くなっています。

(女性が仕事をする事)

- ・女性が仕事をする事に対して、男女とも「どちらでもよい」の割合が高くなっています。

(女性が仕事をする事－①肯定的回答の理由)

- ・「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が最も高くなっています。

(女性が仕事をする事－②否定的回答の理由)

- ・「仕事と家庭の両立が難しいと思うから」の割合が最も高く、女性は、家庭を前提として仕事をするという意識がうかがえます。

### 3. 用語について

(男女共同参画に関する言葉の認知率)

- ・性別に関わらず「ジェンダー」、「LGBT (エルジービーティー)」、「DV(ドメスティックバイオレンス)」、「セクハラ (セクシュアル ハラスメント)」、の認知率は高いが、「JKビジネス(ジェイケイ ビジネス)」、の認知率は低くなっています。

### 4. デートDVについて

- ・「デートDV」の認知率は男女とも低くなっていますが、前回調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。
- ・前回調査と比較して、すべての項目について、「デートDVだと思う」の割合が増加しており、「デートDVではない」の割合が減少しています。
- ・恋人との間で起こる事柄についての判断は、「なぐるふりをしたり、刃物を突きつけておどす」、「性的な画像や動画(写メ)などを勝手に撮ったりSNSなどに載せたりする」、「キスや性的な行為を同意なく一方的にする」、「大声でどなる」など、精神的暴力や性的暴力がデートDVとして高く認識されている一方、「自分を常に優先してほしいと言う」、「こんな服を着て」と服装などのチェックや指示をする」など自己中心的な事柄については、デートDVとしての認識が低くなっています。

## 5. 自分への評価について

### (自己評価)

- ・自分を肯定的に捉えている割合は、女性が4割、男性が6割であり、女性の方が割合が低くなっています。また、女性が自分を否定的に捉えている割合が6割となっています。

### (大人からの保護)

- ・性別に関わらず、「周りのおとなから大切にされている」の割合が最も高くなっています。

### (相談相手)

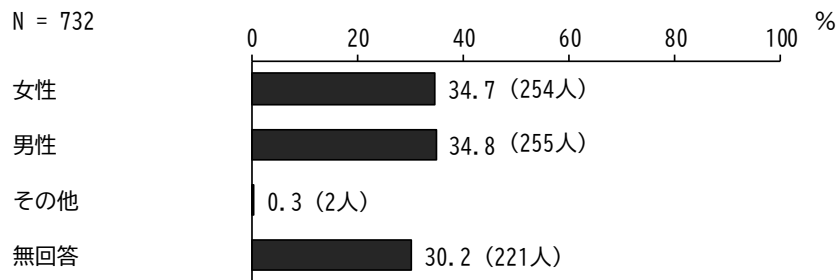
- ・男女とも、主な相談相手は「友だち」の割合が最も高く、次が「母」の順となっています。「父」に相談する割合は女性よりも男性が高くなっています。

### Ⅲ 調査結果

#### 1 あなた自身について

問1 あなたの性別を記入してください。

「女性」の割合が34.7%、「男性」の割合が34.8%となっています。



## 2 男女平等と役割分担意識について

### 問2 次のことについてどう思いますか。

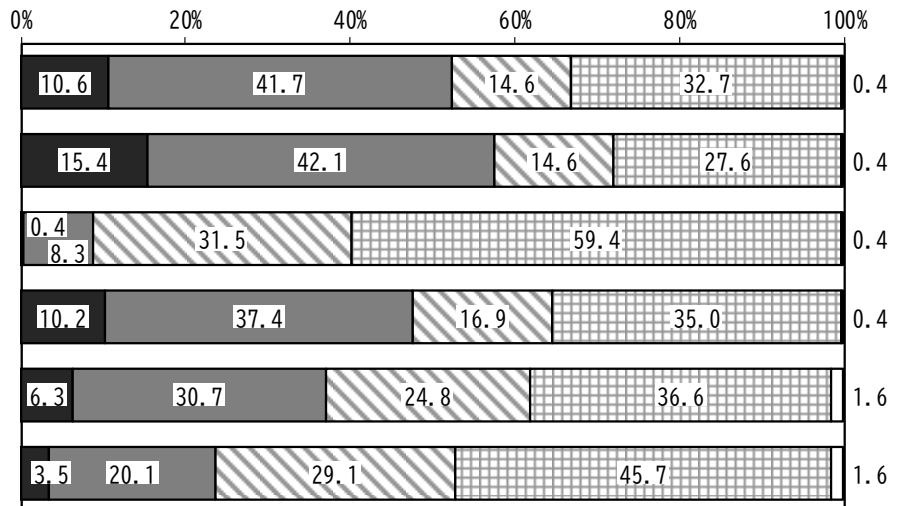
女性では『2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が高くなっています。

男性では『1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。』『2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。』で“そう思う”の割合が高くなっています。また、『3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。』で“そう思わない”の割合が高くなっています。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- ▨ どちらかといえばそう思わない
- ▨ そう思わない
- 無回答

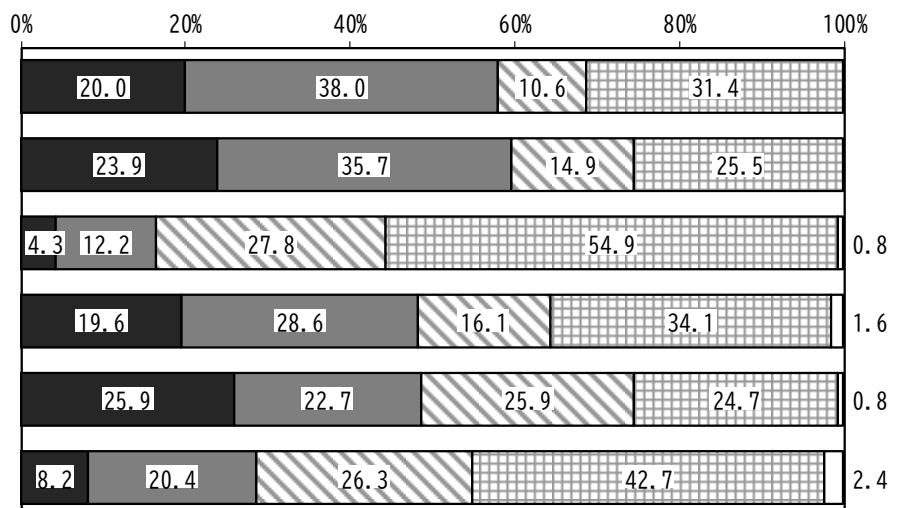
【女性】  
N = 254

- 1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。
- 2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。
- 3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。
- 4) 教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。
- 5) いろいろな場面で、男子より女子のほうが甘やかされている。
- 6) いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。



【男性】  
N = 255

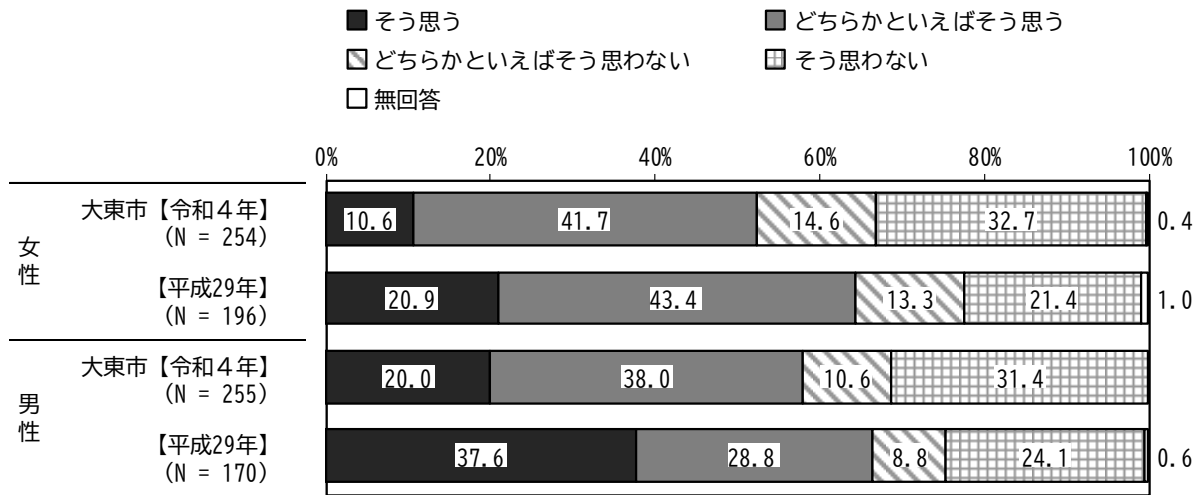
- 1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。
- 2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。
- 3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。
- 4) 教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。
- 5) いろいろな場面で、男子より女子のほうが甘やかされている。
- 6) いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。



1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。

【経年比較（性別）】

平成 29 年度と比較すると、女性は「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。男性は「どちらかといえばそう思う」、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。

【経年比較（性別）】

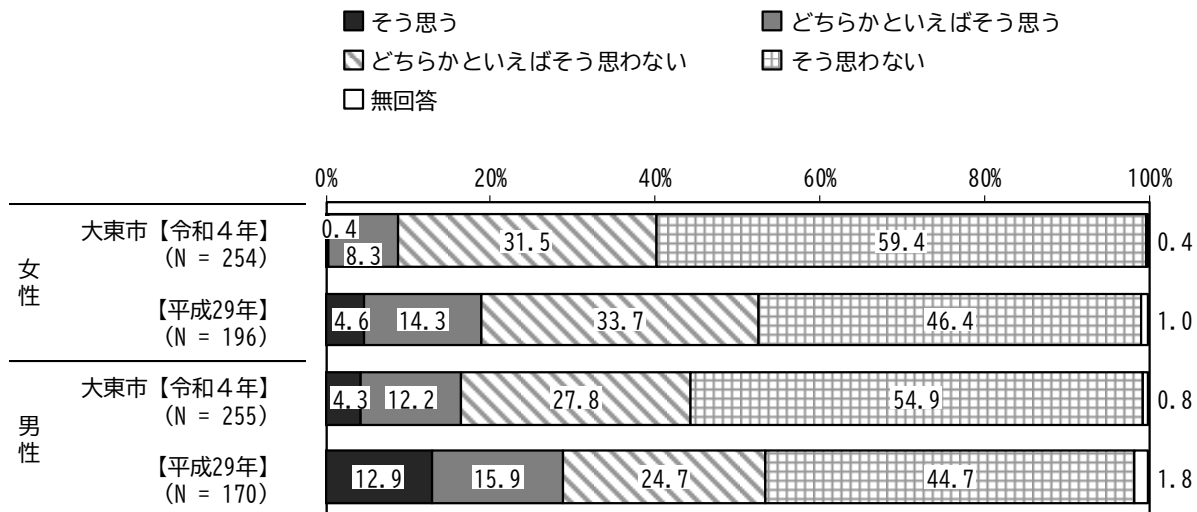
平成 29 年度と比較すると、性別に関わらず「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。

【経年比較（性別）】

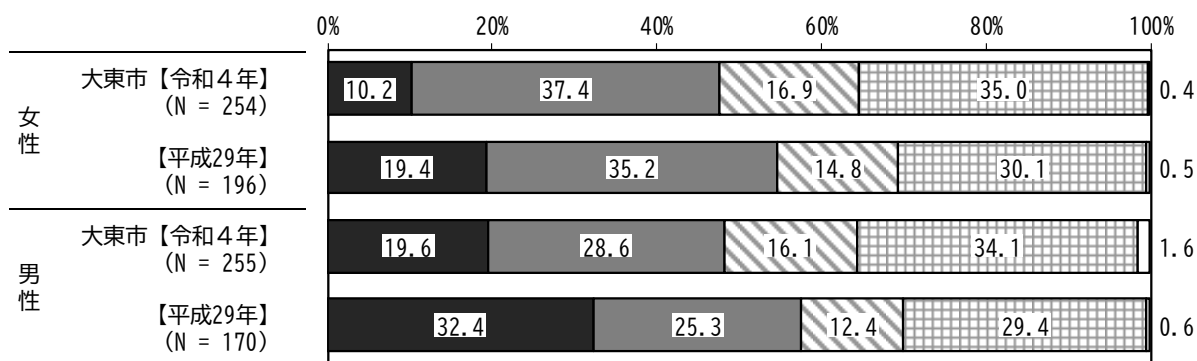
平成 29 年度と比較すると、女性は「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。男性は「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



4) 教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。

【経年比較（性別）】

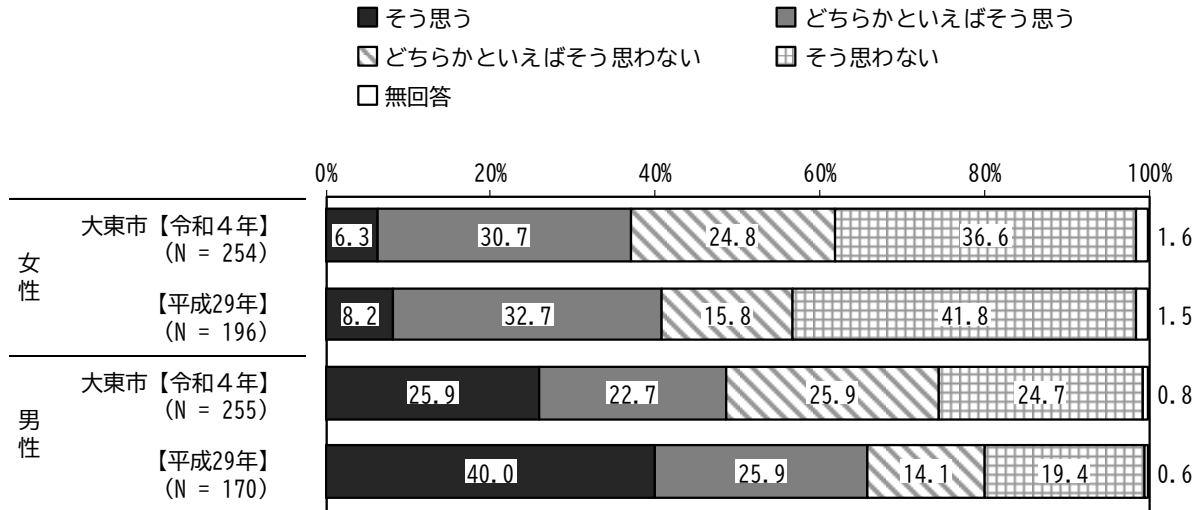
平成 29 年度と比較すると、性別に関わらず「そう思う」の割合が減少しています。



5) いろいろな場面で、男子より女子のほうが甘やかされている。

【経年比較（性別）】

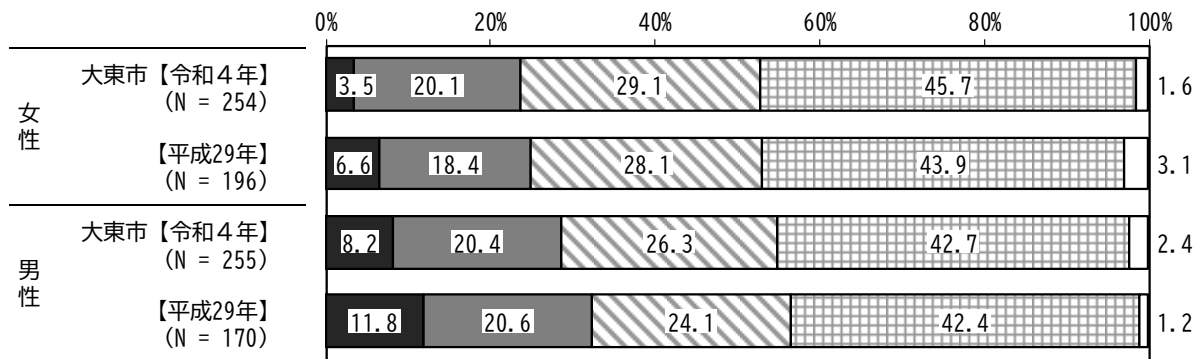
平成 29 年度と比較すると、性別に関わらず「どちらかといえばそう思わない」の割合が増加しています。一方、男性は「そう思う」の割合が減少しています。



6) いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。

【経年比較（性別）】

平成 29 年度と比較すると、性別に関わらず大きな変化はみられません。





問3 あなたは家の中で、どのようなお手伝いをしますか。(あてはまるものすべてにチェック)

女性では、「食事の後かたづけ」の割合が68.9%と最も高く、次いで「食事の準備」の割合が63.4%、「風呂そうじ」の割合が42.1%となっています。

男性では、「食事の後かたづけ」の割合が59.2%と最も高く、次いで「食事の準備」の割合が49.8%、「風呂そうじ」の割合が45.9%となっています。

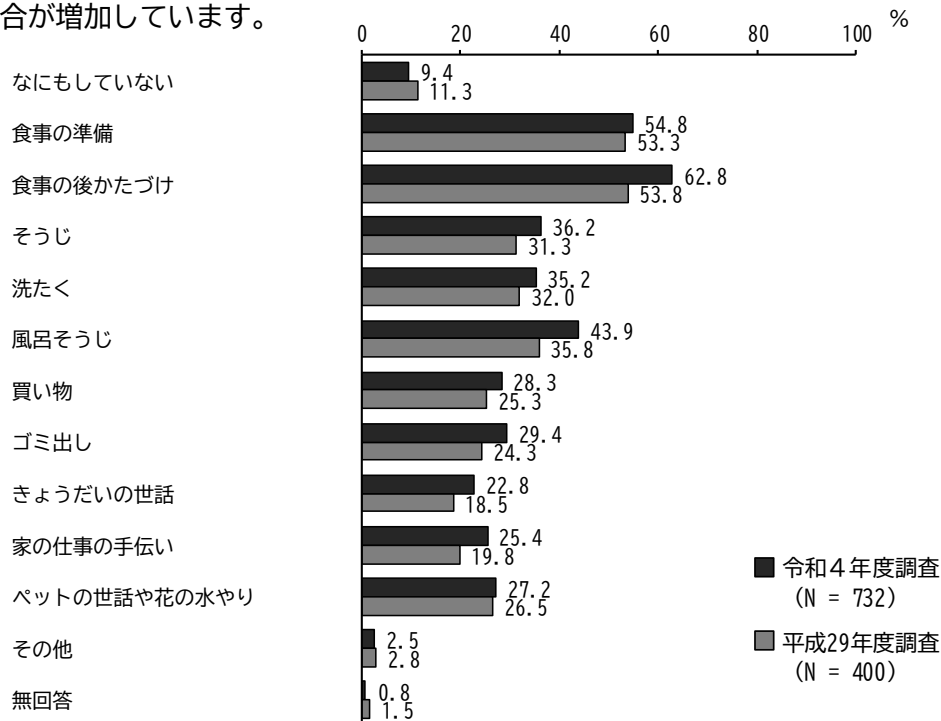
【性別】

単位：%

区分	N(件)	なにもしていない	食事の準備	食事の後かたづけ	そうじ	洗たく	風呂そうじ	買い物	ゴミ出し	きょうだいの世話	家の仕事の手伝い	ペットの世話や花の水やり	その他	無回答
全体	732	9.4	54.8	62.8	36.2	35.2	43.9	28.3	29.4	22.8	25.4	27.2	2.5	0.8
女性	254	6.3	63.4	68.9	40.9	37.4	42.1	30.7	26.8	23.6	24.4	30.3	4.7	—
男性	255	11.4	49.8	59.2	30.6	29.8	45.9	23.5	32.2	20.0	25.5	21.6	2.0	1.2
その他	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—

【経年】

平成29年度調査と比較すると、「食事の後かたづけ」、「風呂そうじ」、「ゴミ出し」、「家の仕事の手伝い」の割合が増加しています。



中学生 問3 その他回答

父親と一緒に棚を作ったり。

布団の上げ下ろし

その他 10件

問4 あなたの家では、食事の準備（料理）や、そうじ洗たくのような家事は、主に誰がやっていますか。（チェックは1つ）

女性では、「ほとんど母親」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば母親」の割合が 22.4%となっています。

男性では、「ほとんど母親」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば母親」の割合が 14.9%となっています。

性別で見ると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	N (件)	ほとんど母親	どちらかといえば母親	どちらかといえば父親	ほとんど父親	母親と父親同じくらい	その他の人	無回答
全体	732	63.9	17.8	0.7	1.4	9.4	4.4	2.5
女性	254	63.4	22.4	0.4	1.2	6.7	5.1	0.8
男性	255	66.3	14.9	0.4	1.2	9.0	5.1	3.1
その他	2	100.0	—	—	—	—	—	—

問5 あなたは家の中で、食事の準備（料理）や、そうじ洗たくのような家事は、誰がやるのが一番よいと思いますか。（チェックは1つ）

女性では、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が 85.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 7.9%となっています。

男性では、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 18.8%となっています。

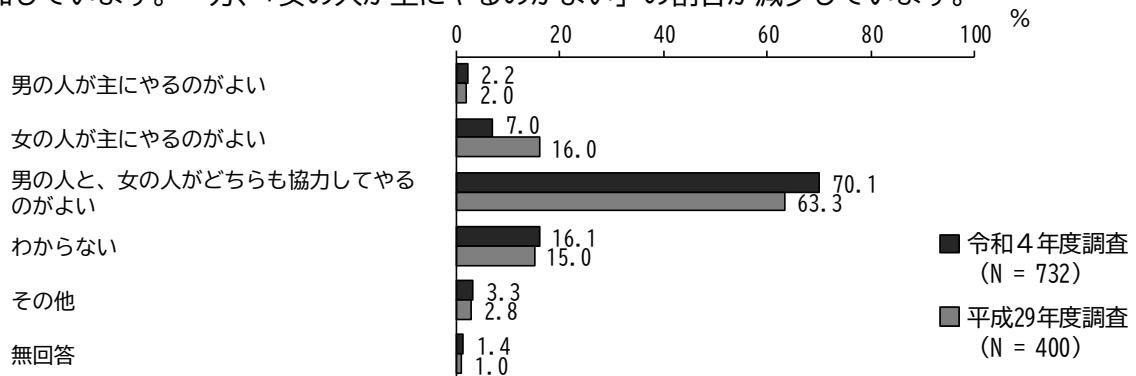
【性別】

単位：%

区分	N (件)	男の人が主にやるのがよい	女の人が主にやるのがよい	男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい	わからない	その他	無回答
全体	732	2.2	7.0	70.1	16.1	3.3	1.4
女性	254	0.4	4.7	85.0	7.9	2.0	—
男性	255	4.3	9.0	62.0	18.8	4.3	1.6
その他	2	—	—	—	100.0	—	—

【経年】

平成 29 年度調査と比較すると、「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」の割合が増加しています。一方、「女の人が主にやるのがよい」の割合が減少しています。



中学生 問5 その他回答
家族みんなで協力してやる
主に家計を支えている人は仕事に専念し、もう片方の人は家事担当にしたらいいと思う
時間ある人
両親など関係なしに家族で空いた時間があれば率先してやる
じゃんけんで負けたひと、じゅんばんせい
手が空いている人がやる。自分ができないなら文句言わない
お互いが納得できる形であれば男性だけであろうが女性だけであろうがもしくはどちらでなくともよい。

その他 17件

問6 あなたは、「男の子だから〇〇しなさい」や、「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(チェックは1つ)

女性では、「あまり言われない」の割合が32.3%と最も高く、次いで「ときどき言われる」の割合が30.3%、「よく言われる」の割合が18.9%となっています。

男性では、「まったく言われない」の割合が36.9%と最も高く、次いで「あまり言われない」の割合が32.9%、「ときどき言われる」の割合が18.4%となっています。

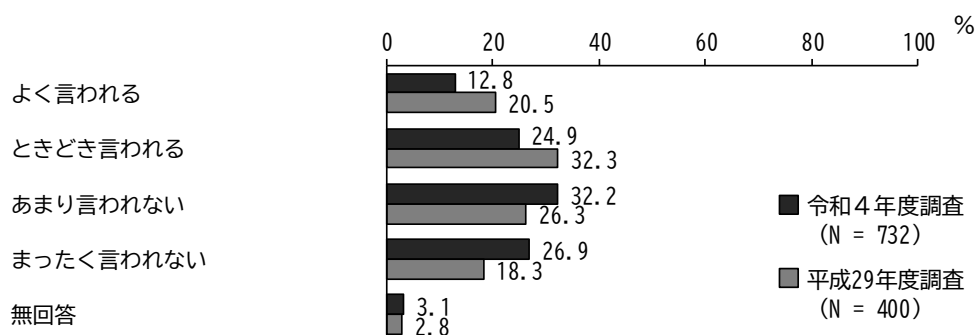
【性別】

単位：%

区分	N (件)	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	まったく言われない	無回答
全体	732	12.8	24.9	32.2	26.9	3.1
女性	254	18.9	30.3	32.3	16.5	2.0
男性	255	8.6	18.4	32.9	36.9	3.1
その他	2	50.0	—	—	50.0	—

【経年】

平成29年度調査と比較すると、「あまり言われない」「まったく言われない」の割合が増加しています。一方、「よく言われる」、「ときどき言われる」の割合が減少しています。



問6-① 【問6で、「1. よく言われる」「2. ときどき言われる」と答えた人にお聞きします。】

どのようなとき、どのような事について言われますか。(あてはまるものすべてにチェック)

女性では、「言葉づかい」の割合が60.0%と最も高く、次いで「すわり方」の割合が56.0%、「服装や髪型」の割合が44.0%、「整理整とん」の割合が44.0%となっています。

男性では、「泣いたとき」の割合が55.1%と最も高く、次いで「言葉づかい」の割合が23.2%、「スポーツをするとき」の割合が23.2%となっています。

【性別】

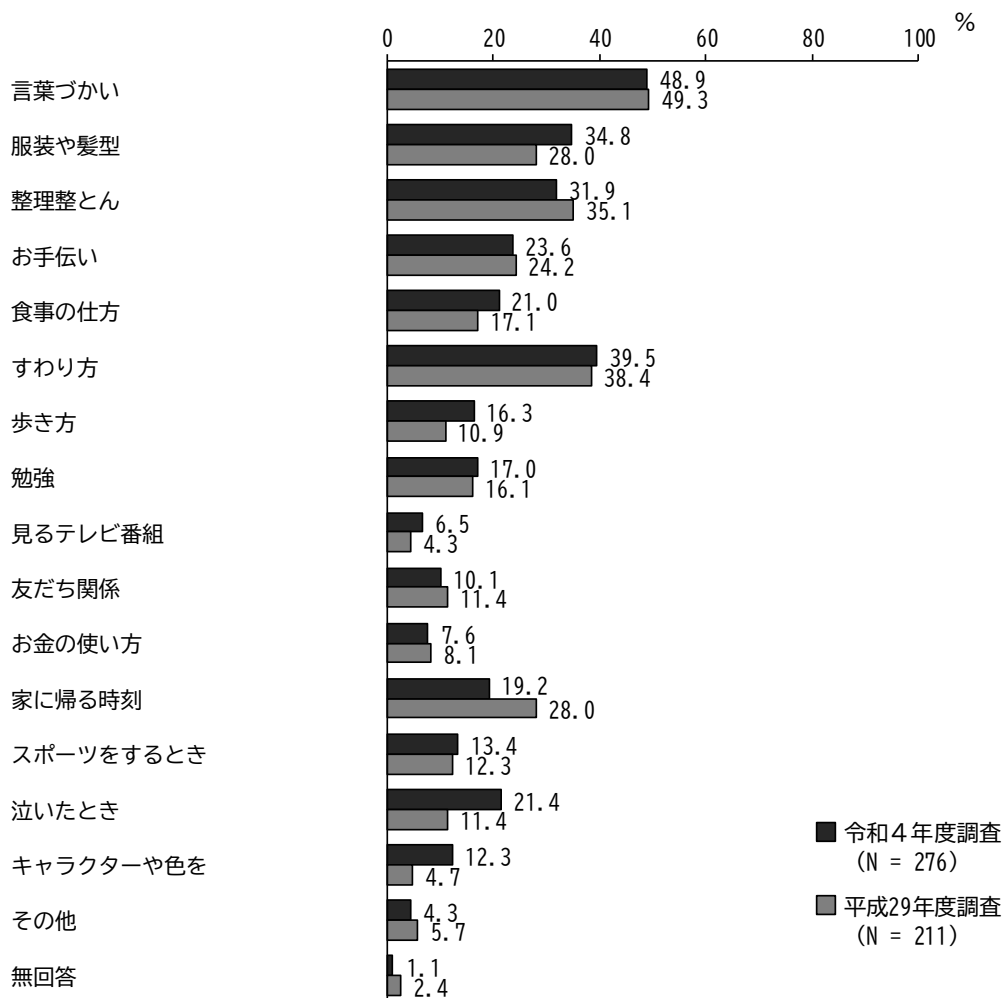
単位：%

区分	N (件)	言葉づかい	服装や髪型	整理整とん	お手伝い	食事の仕方	すわり方	歩き方	勉強
全体	276	48.9	34.8	31.9	23.6	21.0	39.5	16.3	17.0
女性	125	60.0	44.0	44.0	26.4	23.2	56.0	22.4	10.4
男性	69	23.2	20.3	10.1	20.3	11.6	8.7	4.3	20.3
その他	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-

区分	見るテレビ番組	友だち関係	お金の使い方	家に帰る時刻	スポーツをするとき	泣いたとき	キャラクターや色を選ぶとき	その他	無回答
全体	6.5	10.1	7.6	19.2	13.4	21.4	12.3	4.3	1.1
女性	7.2	8.0	6.4	28.0	1.6	7.2	12.8	1.6	0.8
男性	4.3	8.7	7.2	2.9	23.2	55.1	15.9	4.3	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【経年】

平成 29 年度調査と比較すると、「服装や髪型」、「歩き方」、「泣いたとき」、「キャラクターや色を選ぶとき」の割合が増加しています。一方、「家に帰る時刻」の割合が減少しています。



中学生 問6-① その他回答
シャープペンシルの柄
力仕事
荷物を持たされる
性格
怪我をしたとき

その他7件

問6-② 【問6で、「1. よく言われる」「2. ときどき言われる」と答えた人にお聞きします。】

それは、誰に言われますか。(あてはまるものすべてにチェック)

女性では、「母」の割合が78.4%と最も高く、次いで「祖母」の割合が29.6%、「父」の割合が25.6%となっています。

男性では、「母」の割合が58.0%と最も高く、次いで「父」の割合が37.7%、「友だち」の割合が13.0%となっています。

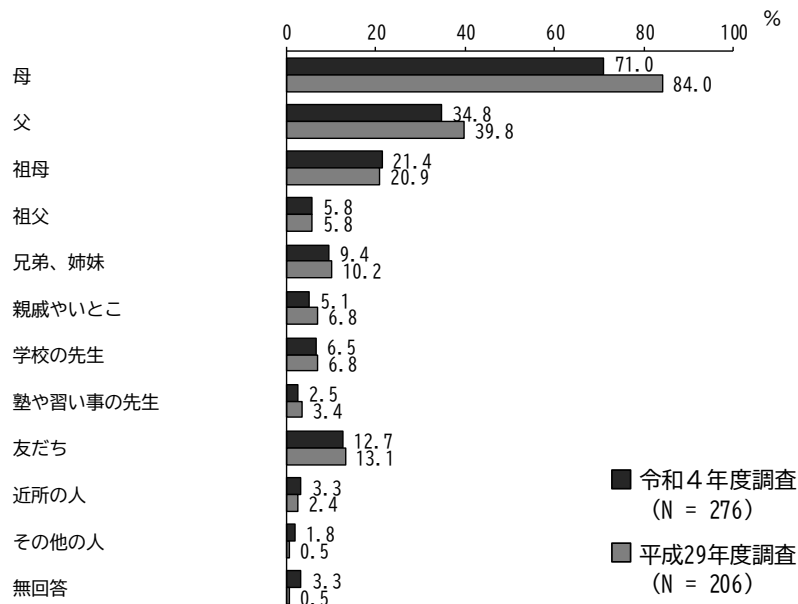
【性別】

単位：%

区分	N (件)	母	父	祖母	祖父	兄弟、 姉妹	親戚やいとこ	学校の先生	塾や習い事の先生	友だち	近所の人	その他の人	無回答
全体	276	71.0	34.8	21.4	5.8	9.4	5.1	6.5	2.5	12.7	3.3	1.8	3.3
女性	125	78.4	25.6	29.6	6.4	5.6	7.2	5.6	1.6	8.8	1.6	0.8	2.4
男性	69	58.0	37.7	10.1	5.8	7.2	2.9	4.3	1.4	13.0	2.9	2.9	5.8
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-

【経年】

平成29年度調査と比較すると、「母」、「父」の割合が減少しています。



中学生 問6-② その他回答
保育園の先生
主に学校の人

その他2件

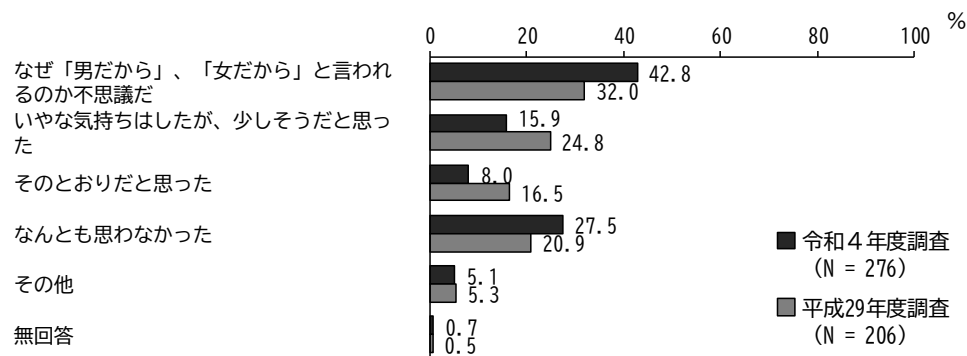
問6-③ 【問6で、「1. よく言われる」「2. ときどき言われる」と答えた人にお聞きします。】

あなたは、その時どんな気持ちがありましたか。(チェックは1つ)

「なぜ「男だから」、「女だから」と言われるのか不思議だ」の割合が42.8%と最も高く、次いで「なんとも思わなかった」の割合が27.5%、「いやな気持ちはしたが、少しそうだと思った」の割合が15.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「なぜ「男だから」、「女だから」と言われるのか不思議だ」、「なんとも思わなかった」の割合が増加しています。一方、「いやな気持ちはしたが、少しそうだと思った」、「そのとおりだと思った」の割合が減少しています。

【経年】



【性別】

性別で見ると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	N (件)	なぜ「男だから」、「女だから」と言われるのか不思議だ	いやな気持ちはしたが、少しそうだと思った	そのとおりだと思った	なんとも思わなかった	その他	無回答
全体	276	42.8	15.9	8.0	27.5	5.1	0.7
女性	125	40.0	18.4	9.6	22.4	8.8	0.8
男性	69	44.9	17.4	5.8	27.5	2.9	1.4
その他	1	—	—	100.0	—	—	—

中学生 問6-③ その他回答
イライラした
男とか女とか関係ない
つらく感じた
うっとうしいと思った
とても嫌になった。そんなこと言われるなら男がよかったとも思った。
自分自身も気を付けた方が良かったと思ったが、少し古い考えだと思った。

その他8件

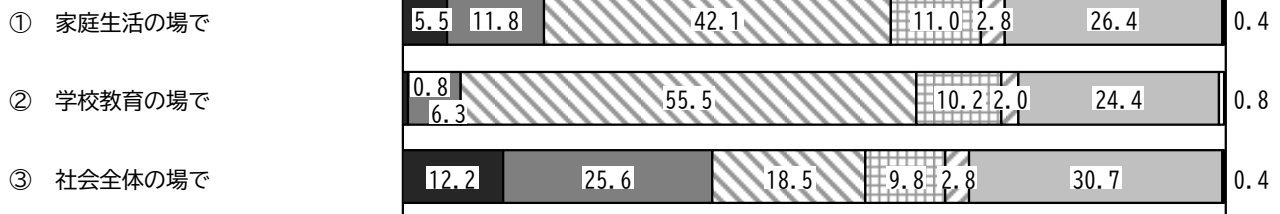


問7 あなたは、次の場面で男女がどの程度、平等になっていると思いますか。

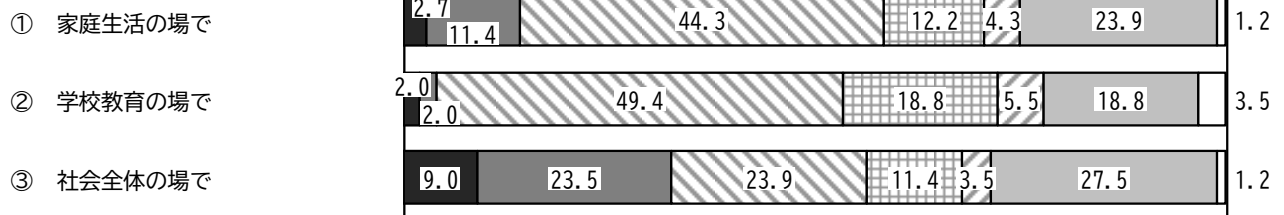
性別に関わらず、同様の傾向となっており、『③ 社会全体の場で』で「男性の方が優遇されていると思う」と「どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う」を合わせた“男性優遇”の割合が高くなっています。また、『② 学校教育の場で』で「平等だと思う」の割合が高くなっています。

- 男性の方が優遇されていると思う
- どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う
- ▨ 平等だと思う
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う
- ▨ 女性の方が優遇されていると思う
- わからない
- 無回答

【女性】  
N = 254



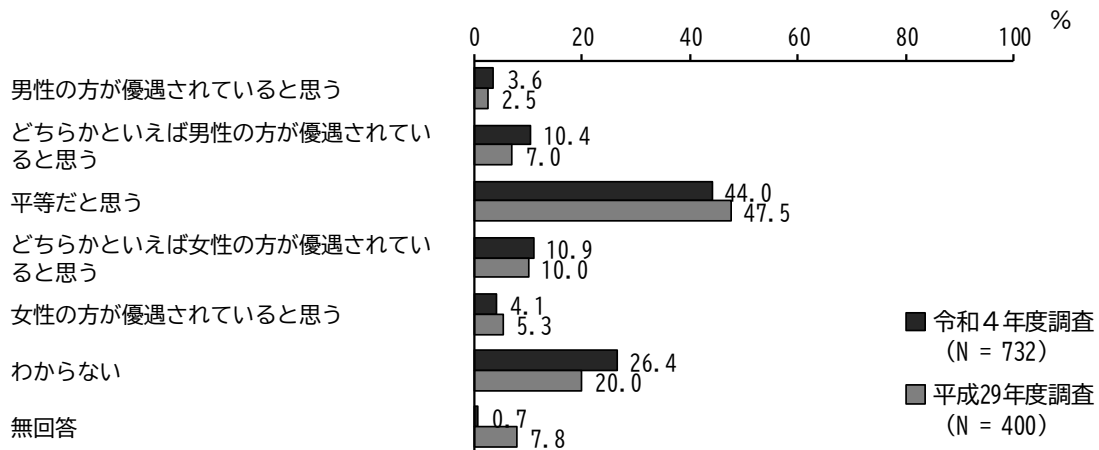
【男性】  
N = 255



①家庭生活の場で

「平等だと思う」の割合が44.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.4%、「どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う」の割合が10.9%となっています。

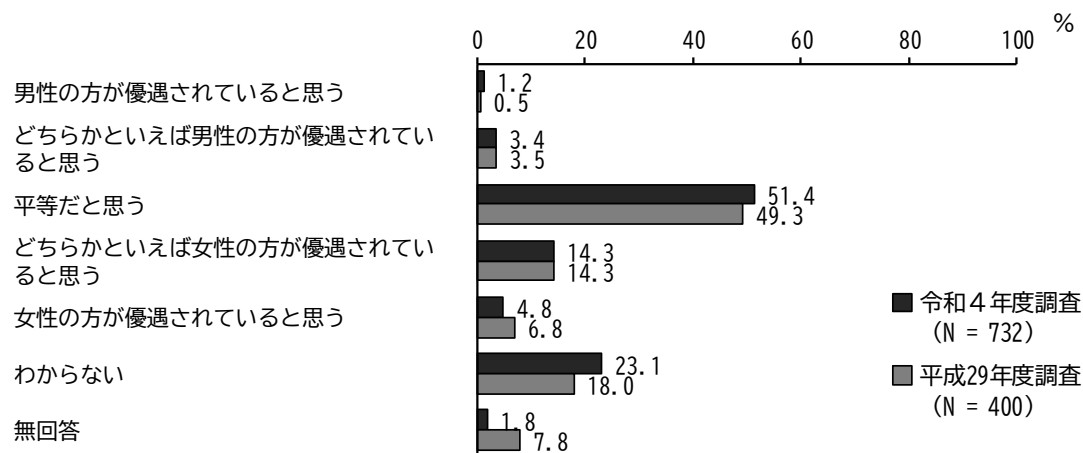
平成29年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



## ②学校教育の場で

「平等だと思う」の割合が51.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.1%、「どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う」の割合が14.3%となっています。

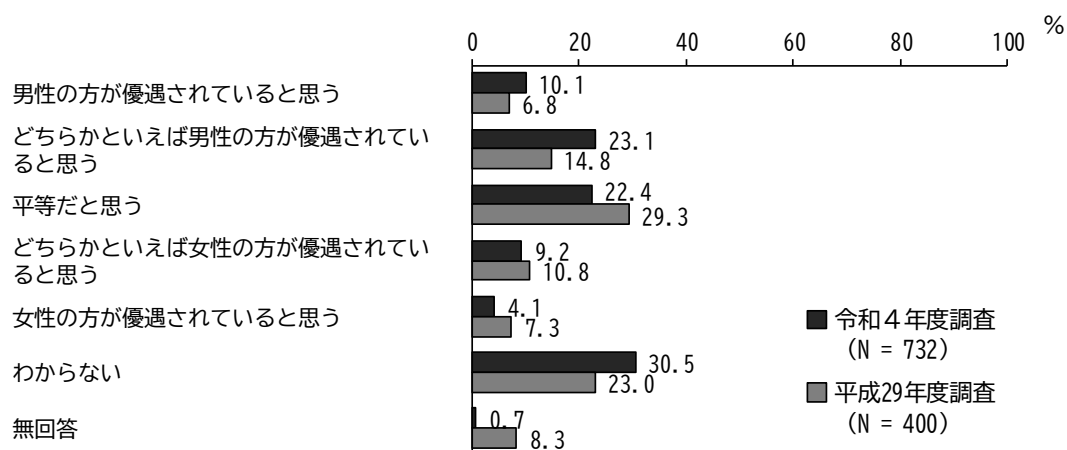
平成29年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



## ③社会全体の場で

「わからない」の割合が30.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う」の割合が23.1%、「平等だと思う」の割合が22.4%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う」、「わからない」の割合が増加しています。一方、「平等だと思う」の割合が減少しています。

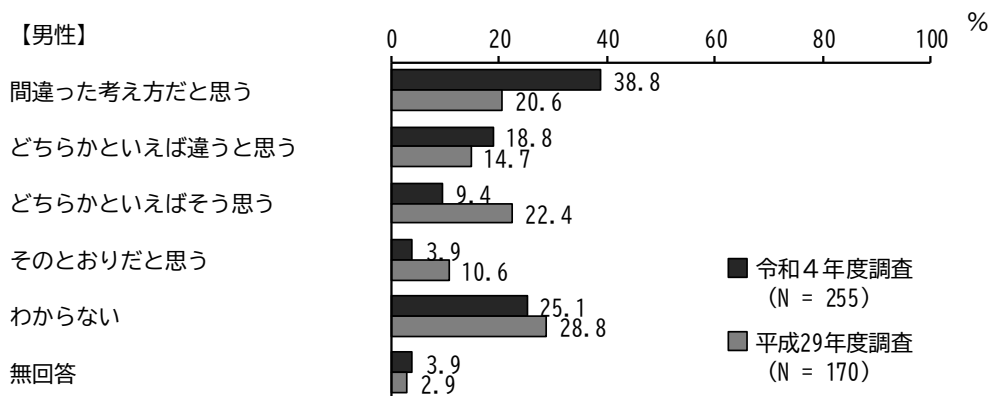
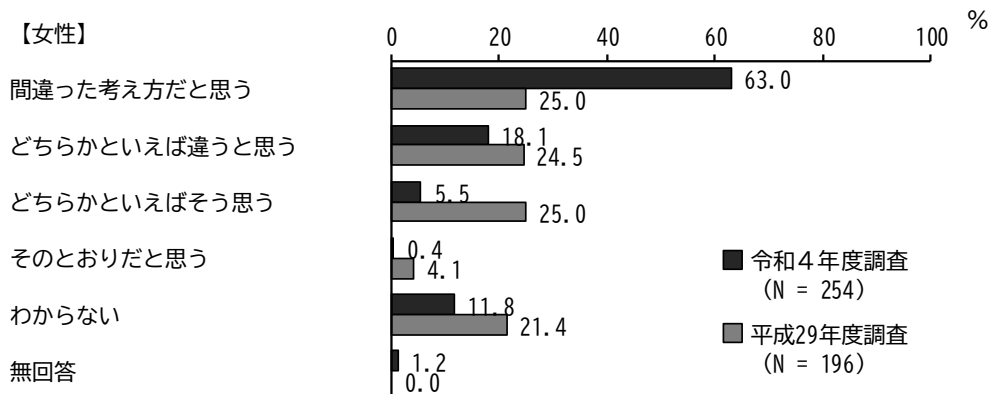


問8 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。  
(チェックは1つ)

女性では、「間違った考え方だと思う」の割合が63.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば違うと思う」の割合が18.1%、「わからない」の割合が11.8%となっています。

男性では、「間違った考え方だと思う」の割合が38.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が25.1%、「どちらかといえば違うと思う」の割合が18.8%となっています。

平成29年度調査と比較すると、性別に関わらず「間違った考え方だと思う」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえばそう思う」、「そのとおりだと思う」の割合が減少しています。



問8-① 【問8で「1. 間違った考え方だと思う」や「2. どちらかといえば違うと思う」と答えた人に聞きます。】

特にそう思う理由はなんですか。(特にあてはまるもの3つにまでに○)

女性では、「固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」の割合が75.2%と最も高く、次いで「男女平等に反すると思うから」の割合が60.7%、「自分の両親もともに働いていたから」の割合が28.6%となっています。

男性では、「固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」の割合が68.7%と最も高く、次いで「男女平等に反すると思うから」の割合が51.0%、「男性も女性も働いた方が多くの収入を得られるから」の割合が24.5%、「自分の両親もともに働いていたから」の割合が24.5%となっています。

単位：%

区分	N (件)	固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	女性が働いて能力を發揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから	男女平等に反すると思うから	家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから	自分の両親もともに働いていたから	その他	わからない	無回答
全体	501	68.1	16.2	19.0	53.7	11.2	25.7	6.4	1.0	—
女性	206	75.2	11.7	14.1	60.7	13.6	28.6	7.3	0.5	—
男性	147	68.7	22.4	24.5	51.0	6.8	24.5	4.8	2.0	—
その他	1	100.0	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—

中学生 問8-① その他回答
古い考え方だし、人によっては男性が育児に向いていたり女性が働いて多くの収入を得られるケースもあるから。
ヨーロッパでは、収入の多いほうが働いてもう一人は子供の世話や家のことをするから。
女の人だって働きたい人もいると思うし、逆の考えもあると思うので決めつけるのは良くないと思うからです。
男性ならではの考えや女性ならではの考えなど両方それぞれにしかない良さがあるから
男性とか女性とか関係なくその人によって得意苦手あるからその家庭によって分担は違っていると思う
それぞれ個人だから、男は仕事・女は家庭という思考は間違っていると思うから。
差別だと思った。
男の人が、「俺が稼いでる」とか言ってきそう

その他 23 件

問8-② 【問8で「3. どちらかといえばそう思う」や「4. そのとおりだと思う」と答えた人に聞きます。】

特にそう思う理由はなんですか。(特にあてはまるもの3つにまでに○)

女性では、「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」の割合が53.3%と最も高く、次いで「女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」の割合が40.0%、「日本の伝統的な家庭のあり方だと思うから」の割合が26.7%、となっています。

男性では、「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」の割合が44.1%と最も高く、次いで「女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」の割合が35.3%、「男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が35.3%となっています。

単位：%

区分	N (件)	女性が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから	男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	日本の伝統的な家庭のあり方だと思うから	自分の両親も役割分担していたから	その他	わからない	無回答
全体	70	34.3	51.4	37.1	20.0	14.3	4.3	10.0	—
女性	15	40.0	53.3	20.0	26.7	20.0	6.7	6.7	—
男性	34	35.3	44.1	35.3	20.6	17.6	2.9	14.7	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—

中学生 問8-② その他回答

どっちもきついこと

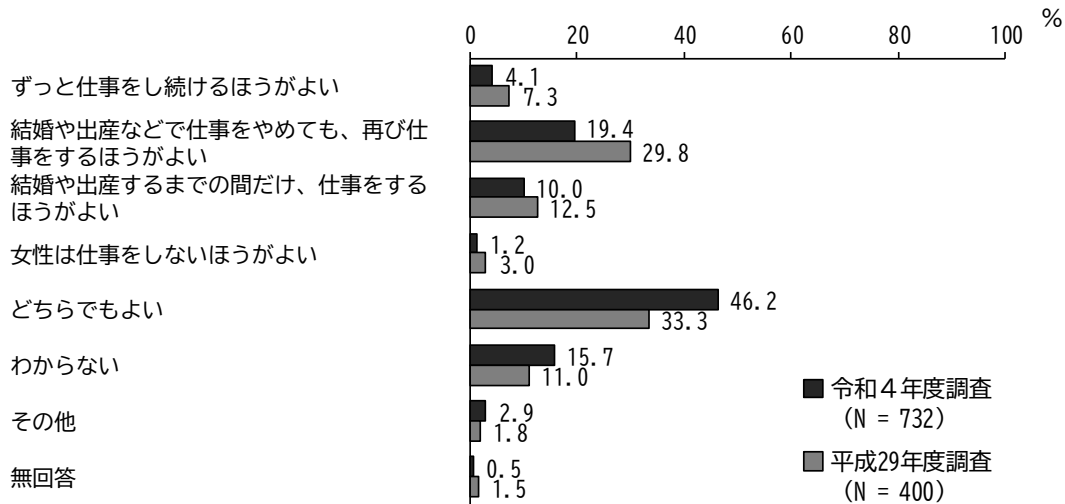
役割分担出来てるから

その他1件

問9 女性が仕事をするについて、あなた自身はどのように考えますか。(チェックは1つ)

「どちらでもよい」の割合が46.2%と最も高く、次いで「結婚や出産などで仕事をやめても、再び仕事をするほうがよい」の割合が19.4%、「わからない」の割合が15.7%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「どちらでもよい」の割合が増加しています。一方、「結婚や出産などで仕事をやめても、再び仕事をするほうがよい」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	N (件)	ずっと仕事をし続けるほうがよい	結婚や出産などで仕事をやめても、再び仕事をするほうがよい	結婚や出産するまでの間だけ、仕事をするほうがよい	女性は仕事をしないほうがよい	どちらでもよい	わからない	その他	無回答
全体	732	4.1	19.4	10.0	1.2	46.2	15.7	2.9	0.5
女性	254	2.8	21.3	9.1	—	48.4	15.0	3.5	—
男性	255	3.5	18.0	10.6	2.0	46.3	17.3	1.6	0.8
その他	2	—	—	—	—	100.0	—	—	—

中学生 問9 その他回答

男性と話し合って育児がおろそかにならない程度なら仕事を続けてほしい。

こどもが一番になって仕事はもういいならやめればいいし、そうじゃないのに無理にやめる必要はない。

自分にとってやりやすいやり方を相談したりして決めるのがいい

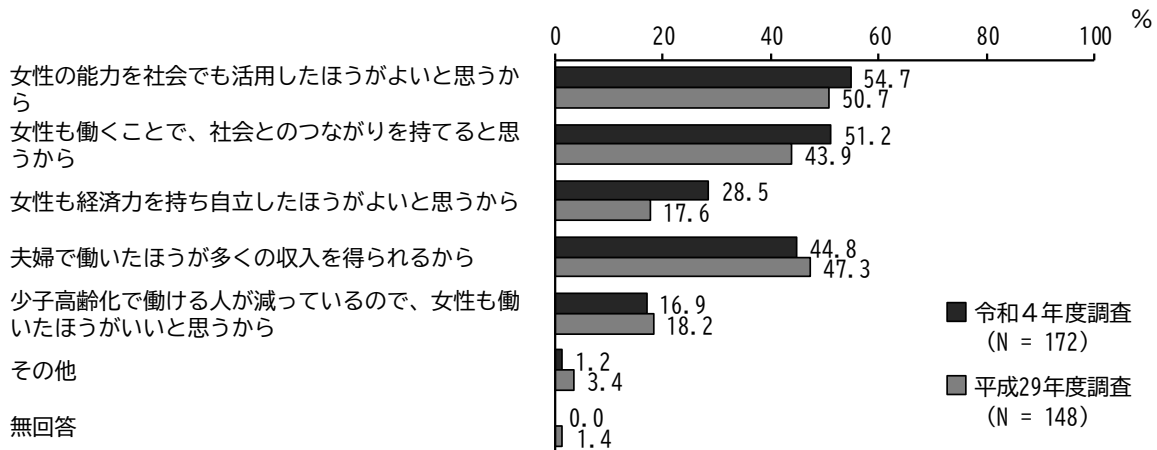
その他 18件

問9-① 【問9で「1. ずっと仕事をし続けるほうがよい」や「2. 結婚や出産などで仕事をやめても、再び仕事をするほうがよい」と答えた人に聞きます。】

それは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてにチェック)

「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」の割合が54.7%と最も高く、次いで「女性も働くことで、社会とのつながりを持てると思うから」の割合が51.2%、「夫婦で働いたほうが多くの収入を得られるから」の割合が44.8%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「女性も働くことで、社会とのつながりを持てると思うから」、「女性も経済力を持ち自立したほうがよいと思うから」の割合が増加しています。



中学生 問9-① その他回答

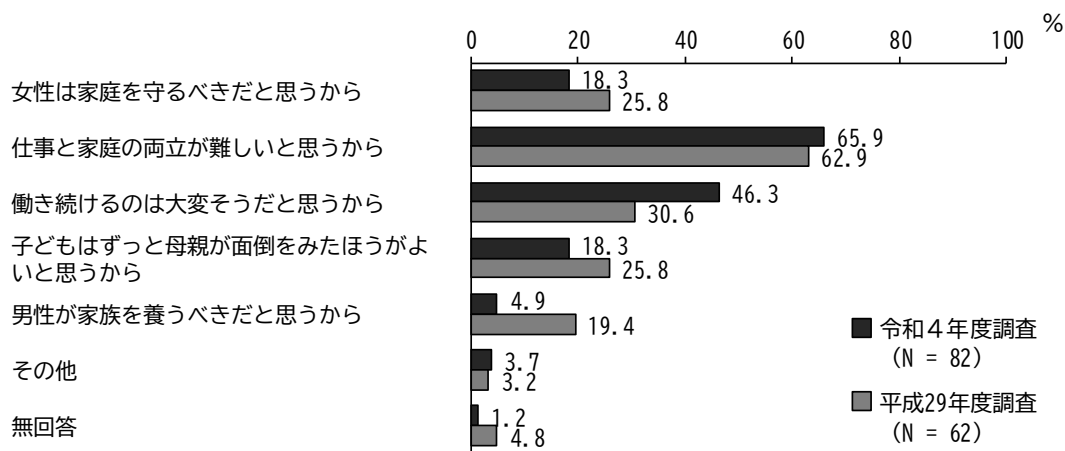
男性だけは、男女平等ではないと思ったから

問9-② 【問9で「3. 結婚や出産するまでの間だけ、仕事をするほうがよい」や「4. 女性は仕事をしないほうがよい」と答えた人に聞きます。】

それは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてにチェック)

「仕事と家庭の両立が難しいと思うから」の割合が65.9%と最も高く、次いで「働き続けるのは大変そうだと思うから」の割合が46.3%、「女性は家庭を守るべきだと思うから」、「子どもはずっと母親が面倒をみたほうがよいと思うから」の割合が18.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「働き続けるのは大変そうだと思うから」の割合が増加しています。一方、「女性は家庭を守るべきだと思うから」、「子どもはずっと母親が面倒をみたほうがよいと思うから」、「男性が家族を養うべきだと思うから」の割合が減少しています。



中学生 問9-② その他回答

子どもが小さいと面倒を見ないといけない

家事に専念するため。

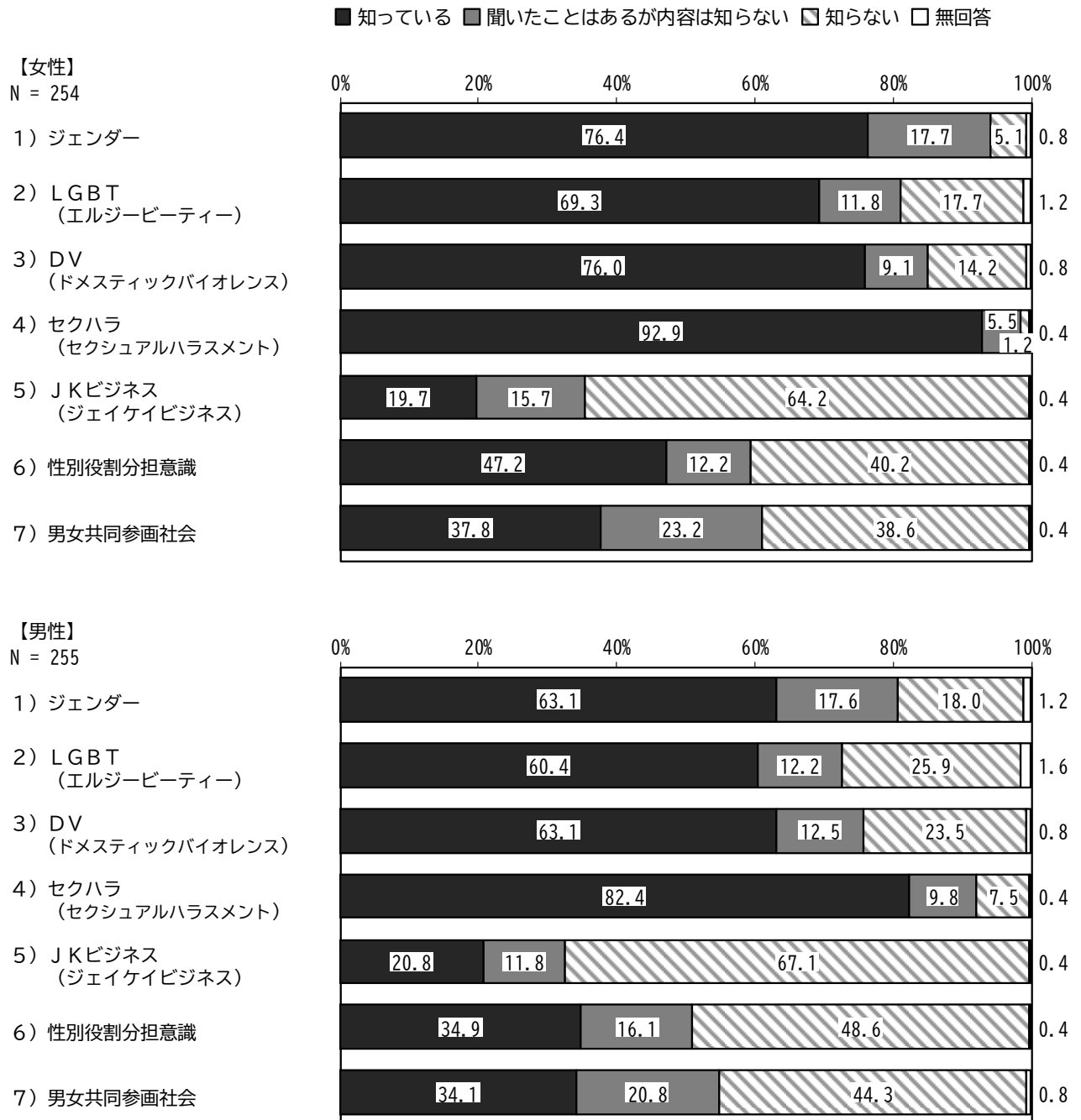
女の方は仕事あまりできないから



### 3 用語について

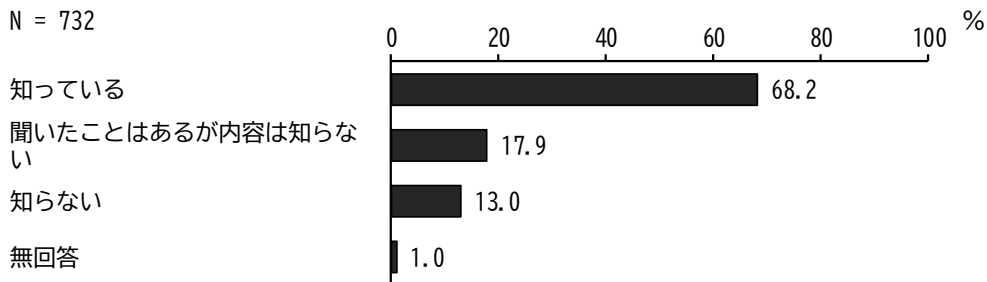
#### 問10 あなたは次の言葉を知っていますか。(チェックはそれぞれ1つ)

性別に関わらず、同様の傾向となっており、『4) セクハラ (セクシュアルハラスメント)』で「知っている」の割合が最も高くなっています。また、『5) JKビジネス (ジェイケイビジネス)』で「知らない」の割合が最も高くなっています。



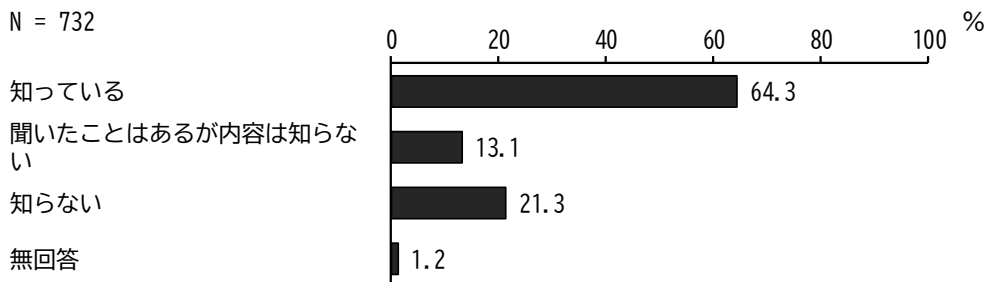
### 1) ジェンダー

「知っている」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合が 17.9%、「知らない」の割合が 13.0%となっています。



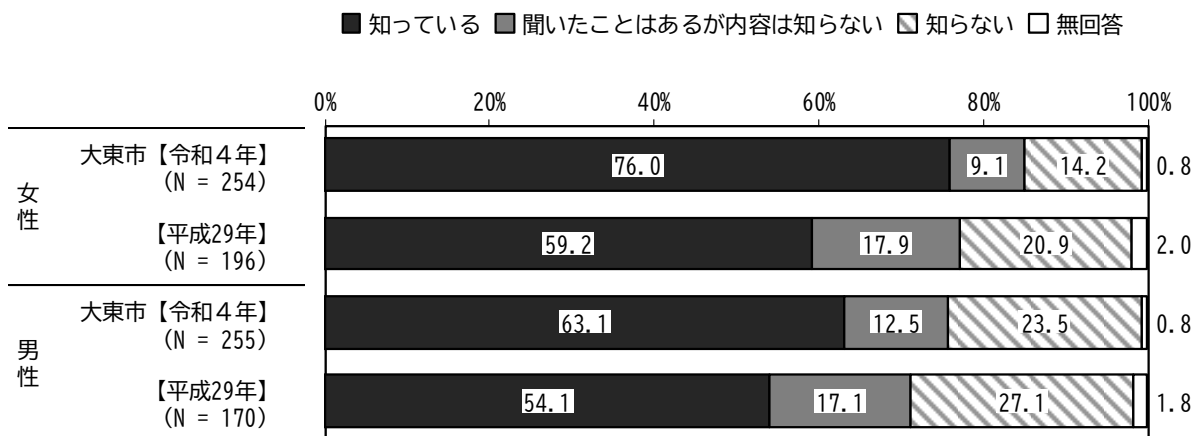
### 2) LGBT (エルジービーティー)

「知っている」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 21.3%、「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合が 13.1%となっています。



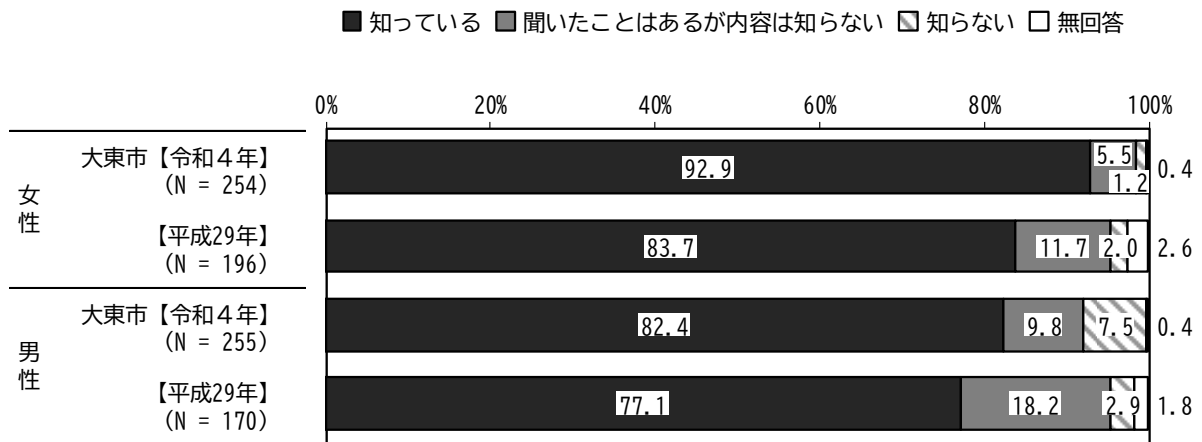
### 3) DV(ドメスティックバイオレンス)

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「知っている」の割合が増加しています。一方、「聞いたことはあるが内容は知らない」、「知らない」の割合が減少しています。



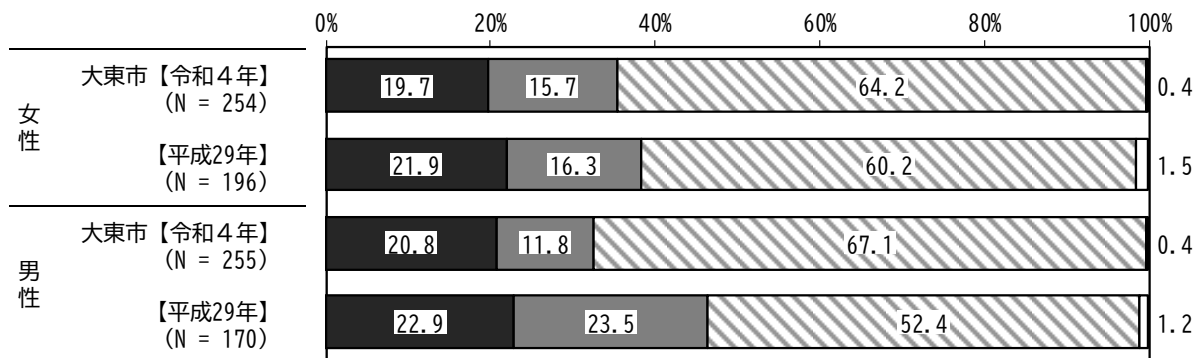
#### 4) セクハラ（セクシュアルハラスメント）

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず、「知っている」の割合が増加しています。一方、「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合が減少しています。



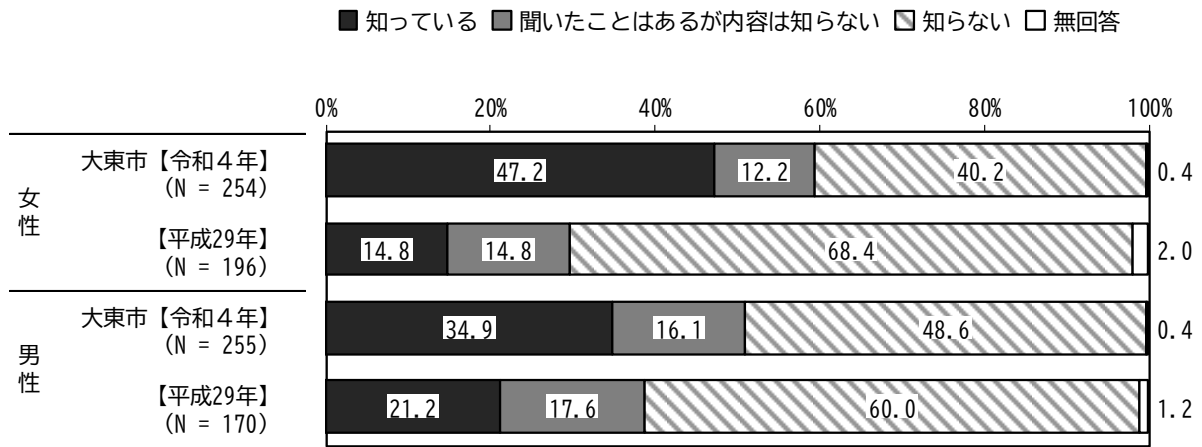
#### 5) JKビジネス（ジェイケイビジネス）

平成 29 年度調査と比較すると、男性で「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合が減少しています。一方、「知らない」の割合が増加しています。



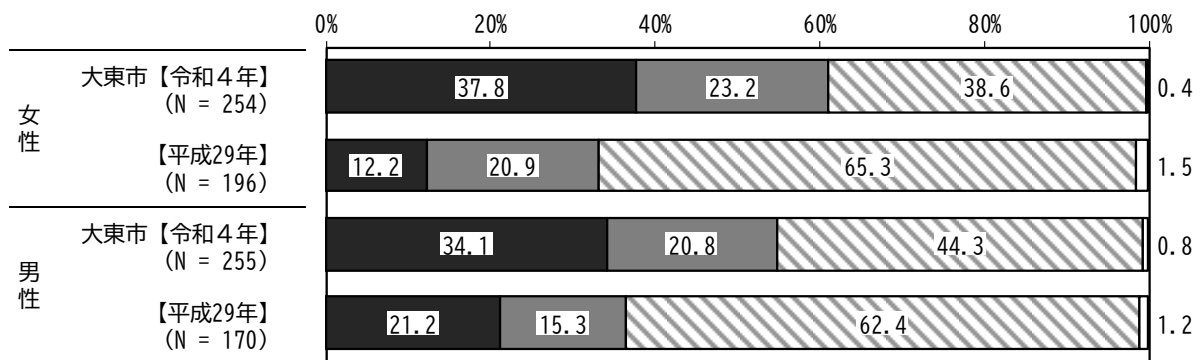
## 6) 性別役割分担意識

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



## 7) 男女共同参画社会

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



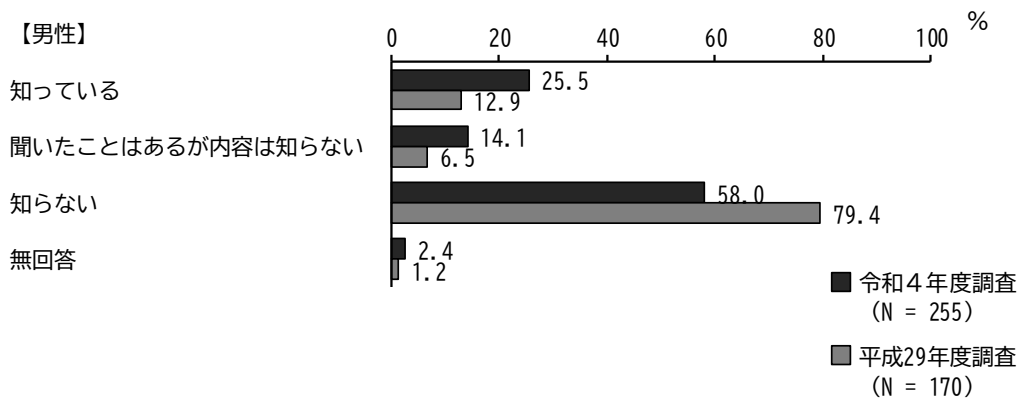
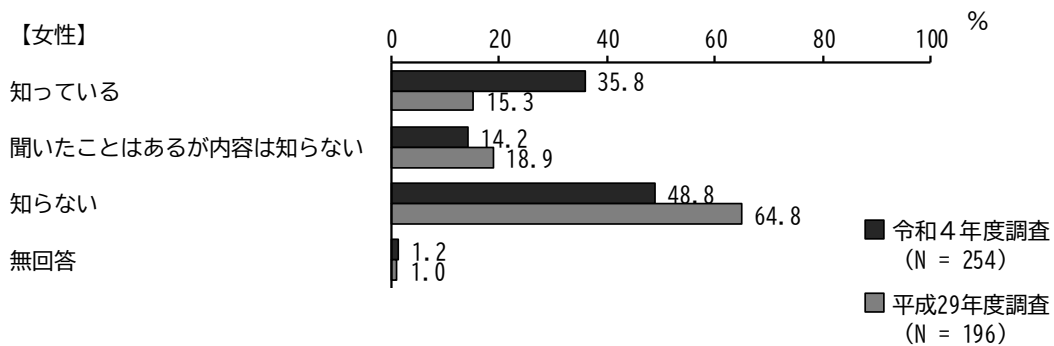
## 4 デートDVについて

### 問11 あなたは、「デートDV」について知っていますか。(チェックは1つ)

女性では、「知らない」の割合が48.8%と最も高く、次いで「知っている」の割合が35.8%、「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合が14.2%となっています。

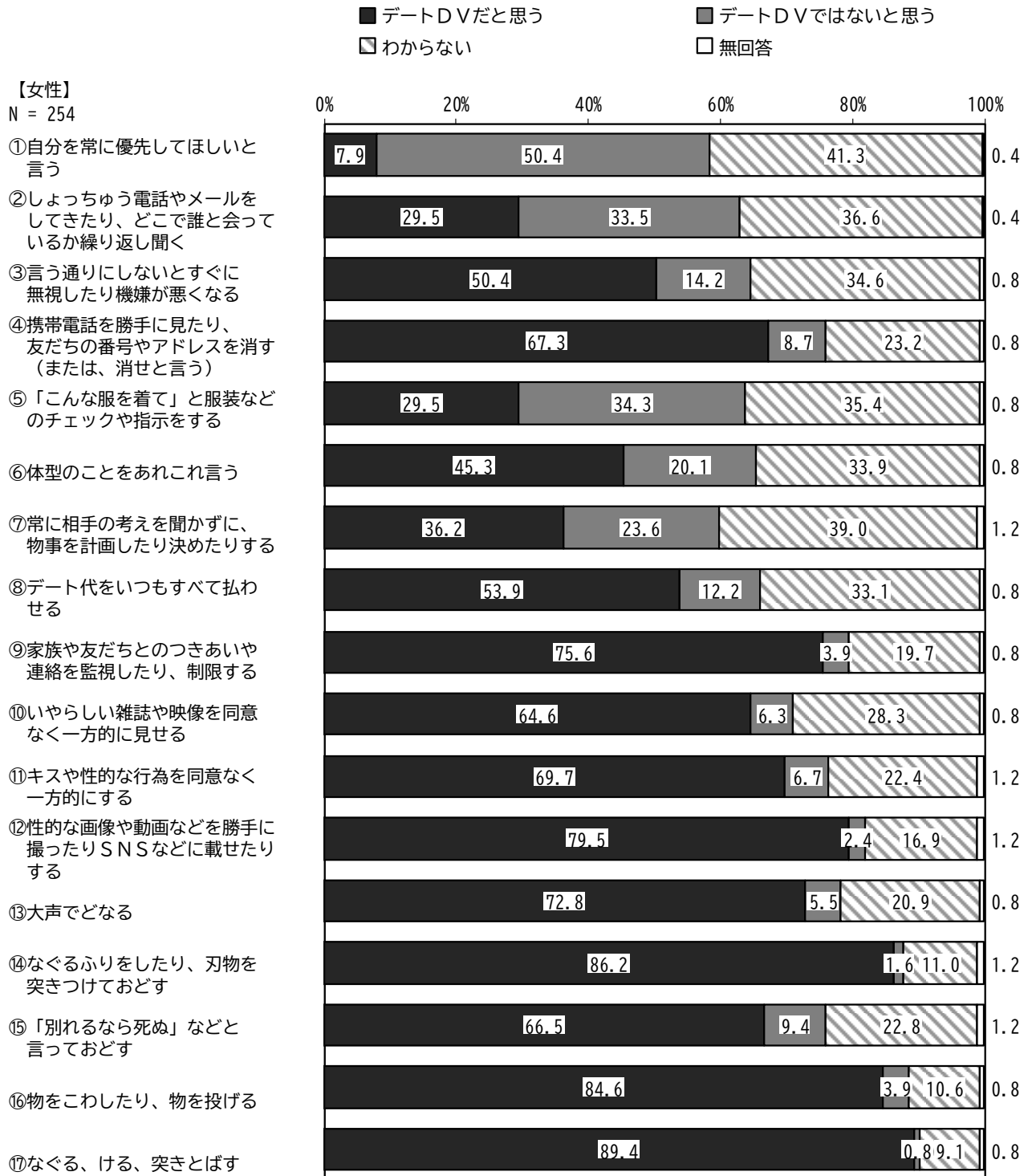
男性では、「知らない」の割合が58.0%と最も高く、次いで「知っている」の割合が25.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合が14.1%となっています。

平成29年度調査と比較すると、女性は「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。男性は「知っている」、「聞いたことはあるが内容は知らない」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



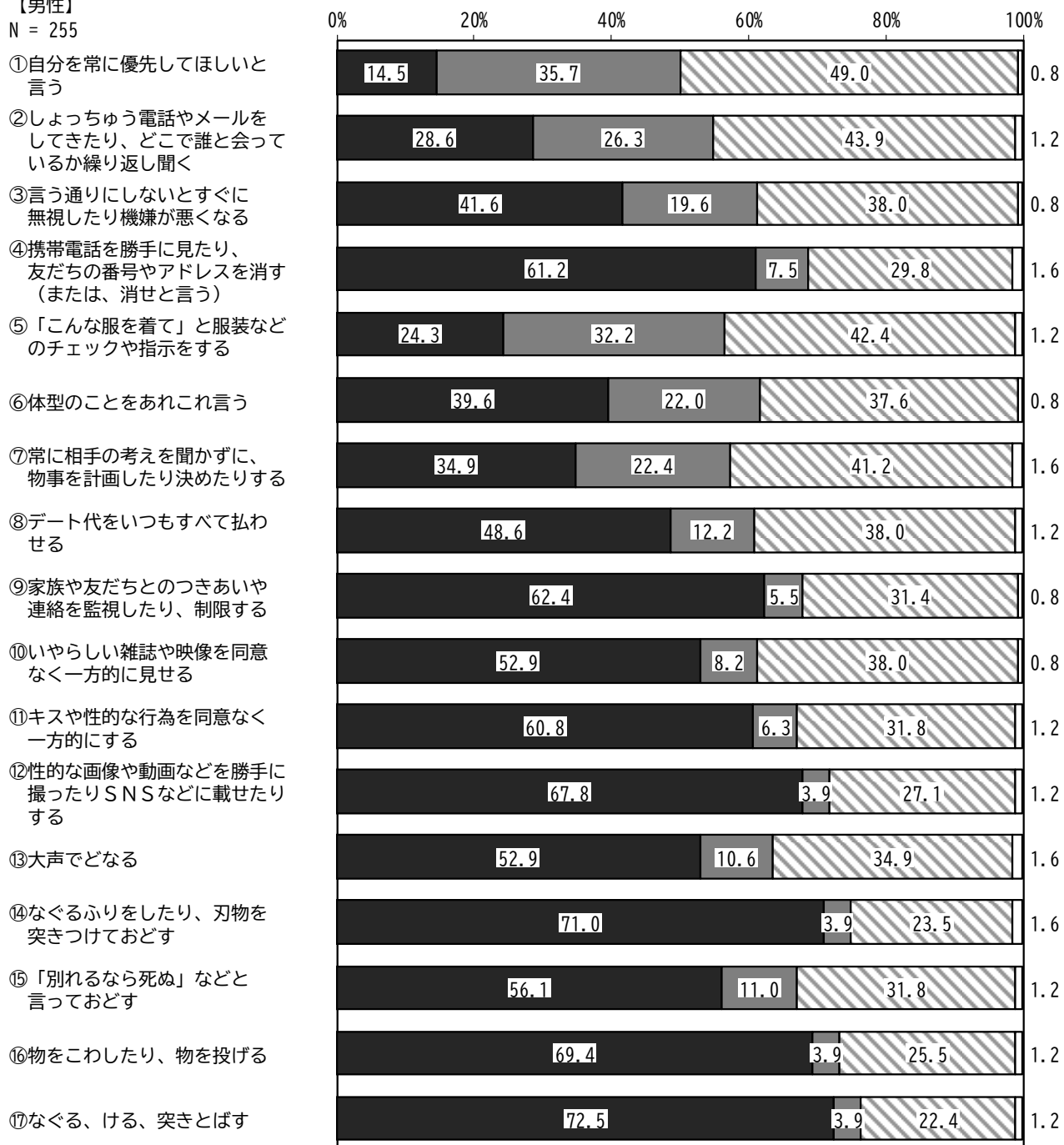
問12 恋人の間で次のようなことが行われた場合、あなたはどのように思いますか。

性別に関わらず、『⑰なぐる、ける、突きとばす』で「デートDVだと思う」の割合が最も高くなっています。また、『①自分を常に優先してほしいと言う』で「デートDVではないと思う」の割合が高くなっています。



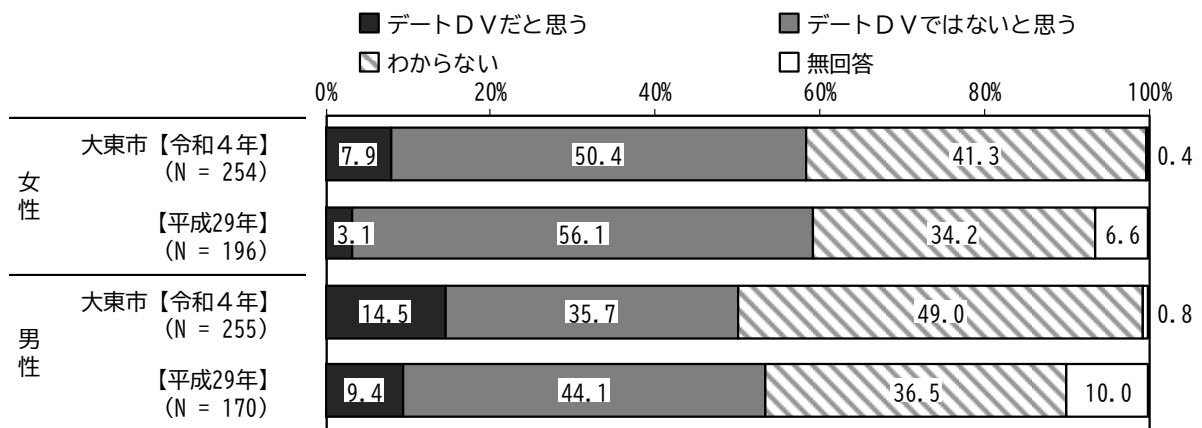
■ デートDVだと思う      ■ デートDVではないと思う  
 ▨ わからない      □ 無回答

【男性】  
N = 255



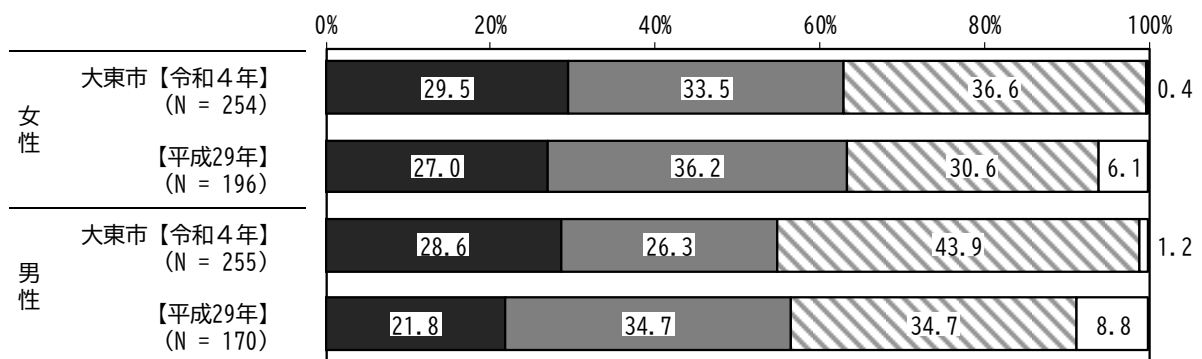
①自分を常に優先してほしいと言う

平成29年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」、「わからない」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。



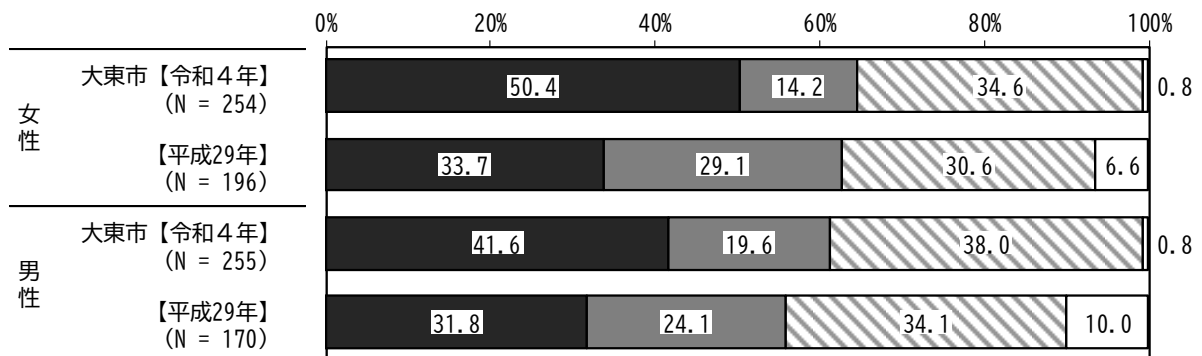
②しょっちゅう電話やメールをしてきたり、どこで誰と会っているか繰り返し聞く

平成29年度調査と比較すると、女性では「わからない」の割合が増加し、男性では「デートDVだと思う」、「わからない」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。



③言う通りにしないとすぐに無視したり機嫌が悪くなる

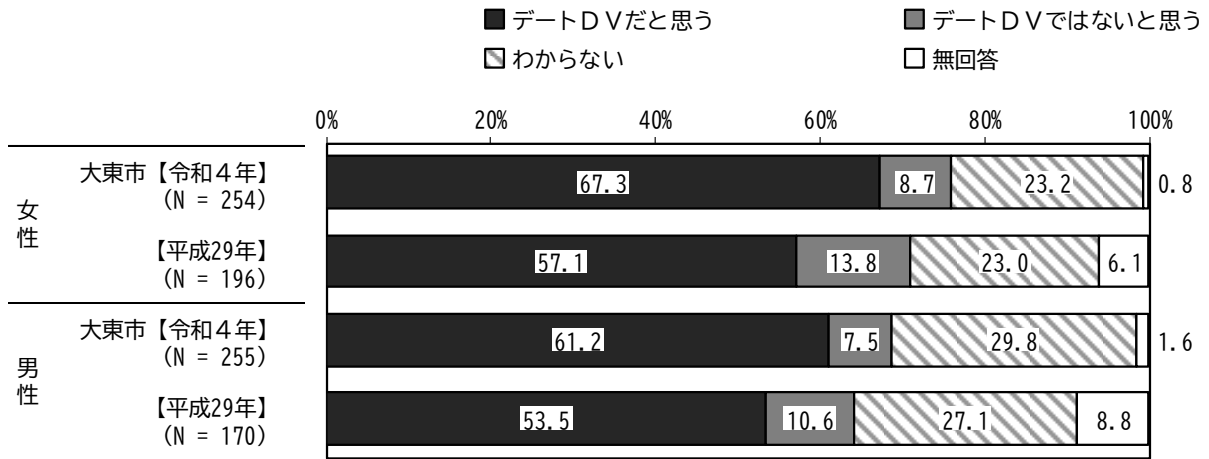
平成29年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。





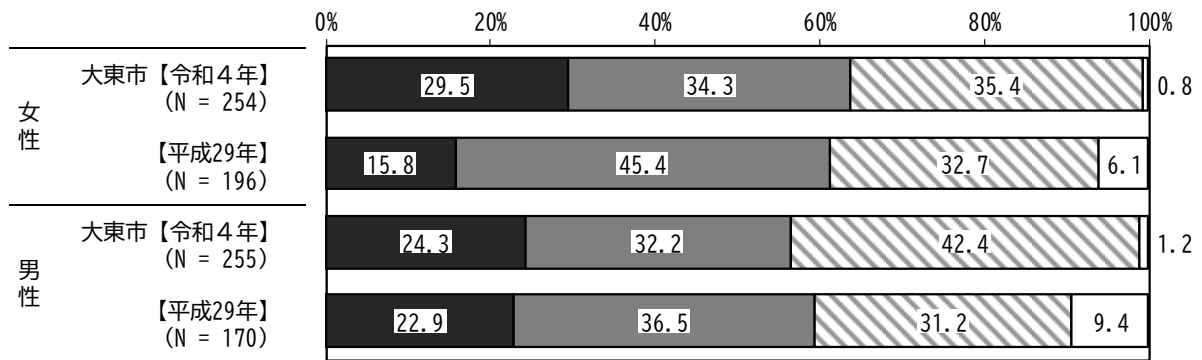
④携帯電話を勝手に見たり、友だちの番号やアドレスを消す（または、消せと言う）

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。



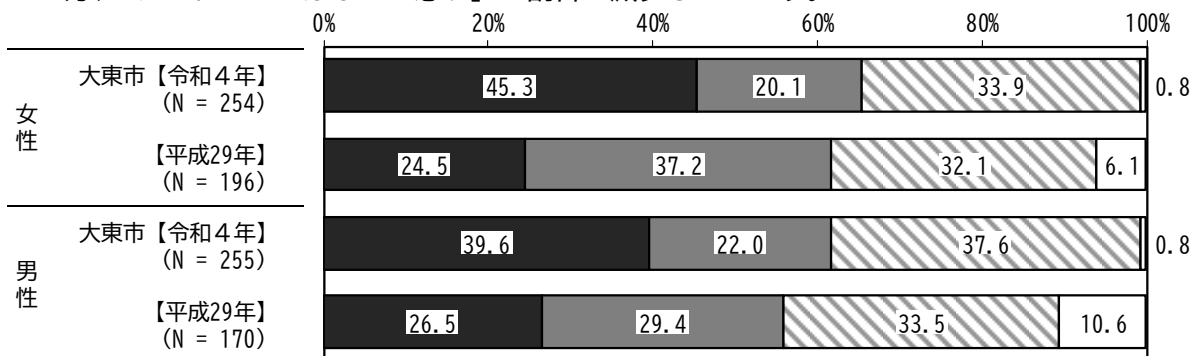
⑤「こんな服を着て」と服装などのチェックや指示をする

平成 29 年度調査と比較すると、女性では「デートDVだと思う」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。男性では、「わからない」の割合が増加しています。



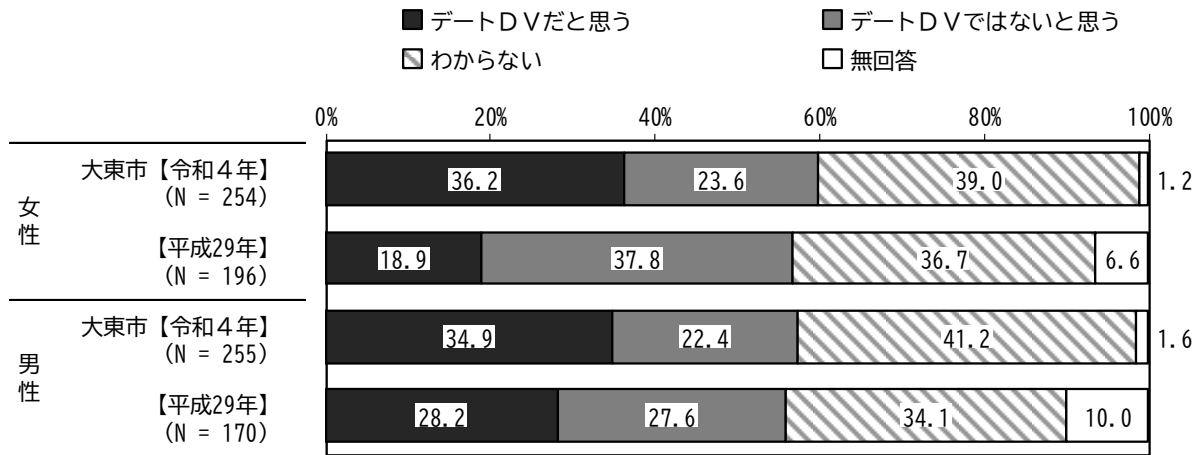
⑥体型のことをあれこれ言う

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。



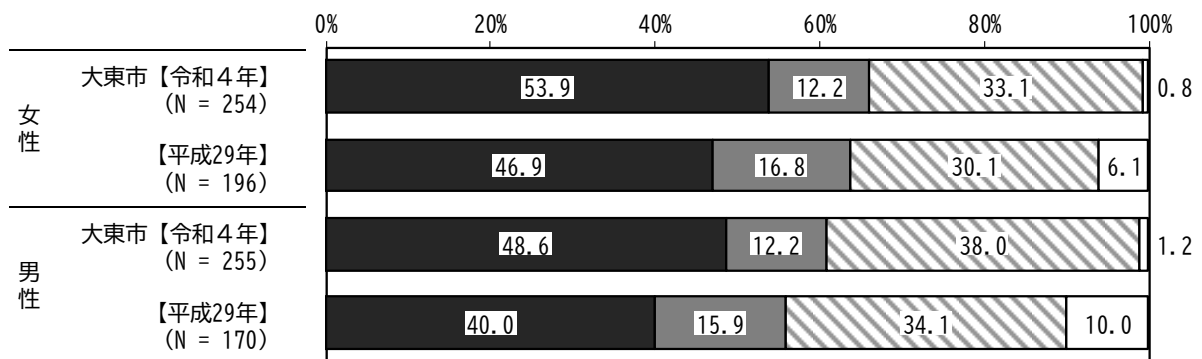
⑦常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。



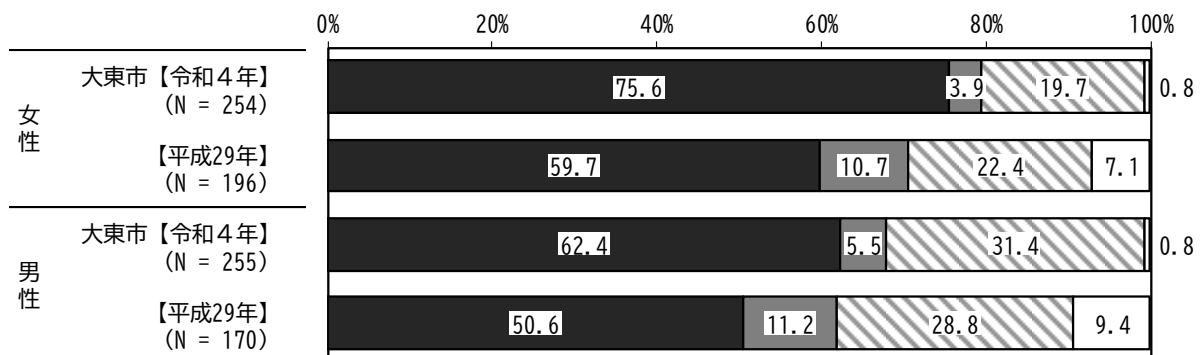
⑧デート代をいつもすべて払わせる

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。



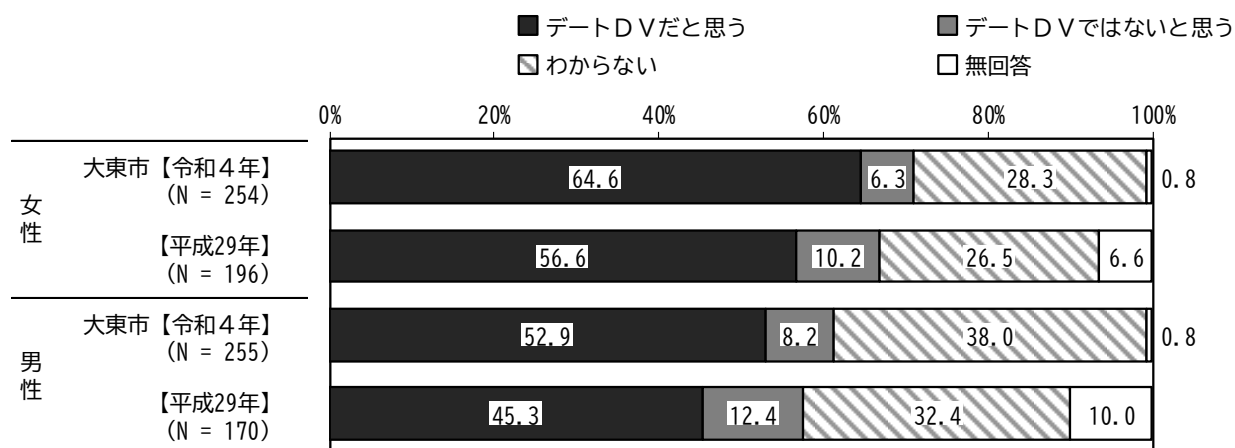
⑨家族や友だちとのつきあいや連絡を監視したり、制限する

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。一方、「デートDVではないと思う」の割合が減少しています。



⑩いやらしい雑誌や映像を同意なく一方的に見せる

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。



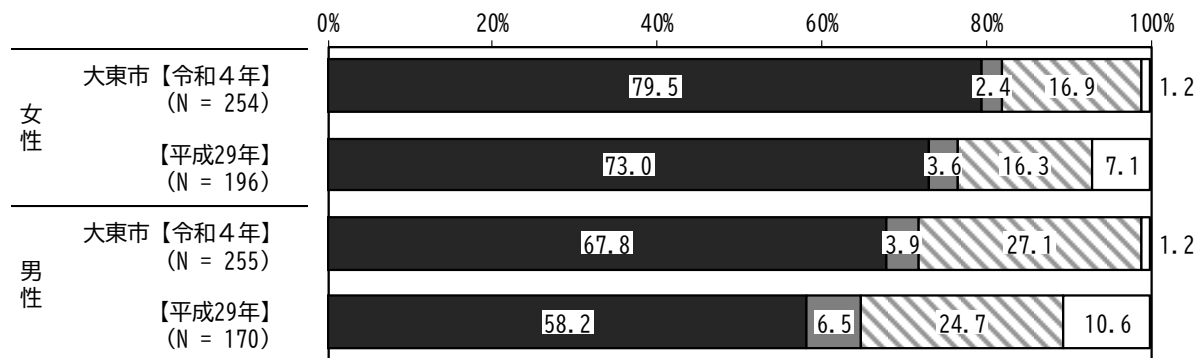
⑪キスや性的な行為を同意なく一方的にする

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。



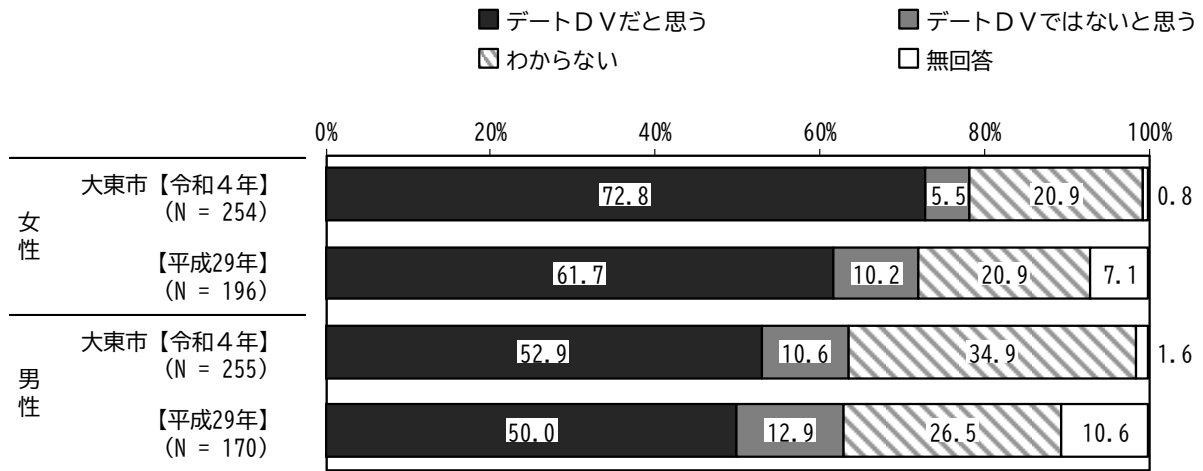
⑫性的な画像や動画などを勝手に撮ったりSNSなどに載せたりする

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。



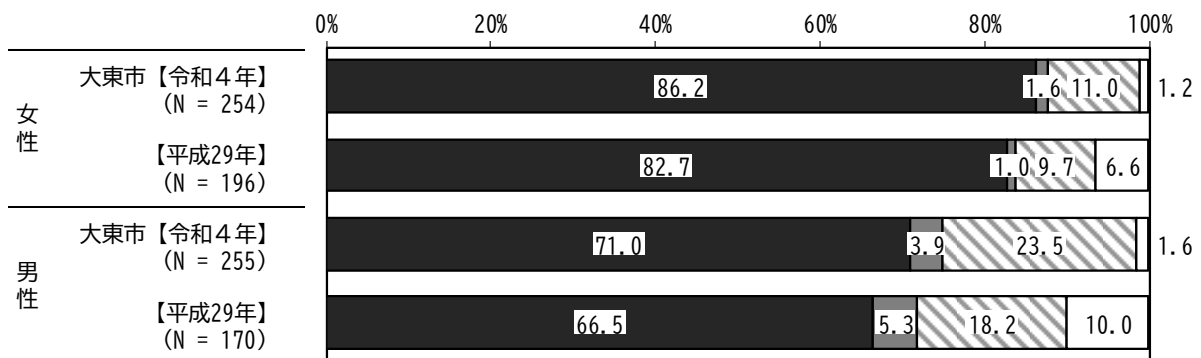
⑬大声でどなる

平成 29 年度調査と比較すると、女性では「デートDVだと思う」の割合が増加しています。男性では、「わからない」の割合が増加しています。



⑭なぐるふりをしたり、刃物を突きつけておどす

平成 29 年度調査と比較すると、男性では「わからない」の割合が増加しています。



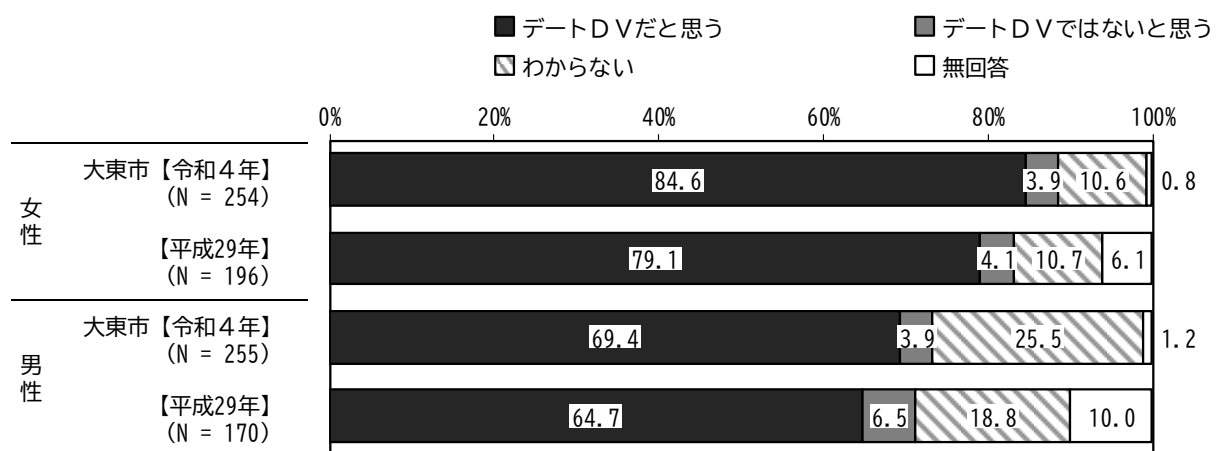
⑮「別れるなら死ぬ」などと言っておどす

平成 29 年度調査と比較すると、男性では「わからない」の割合が増加しています。



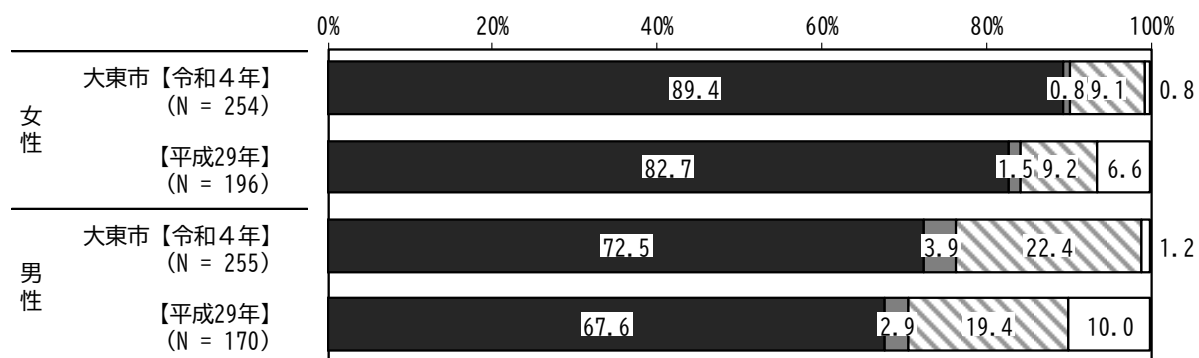
⑩物をこわしたり、物を投げる

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。



⑪なぐる、ける、突きとばす

平成 29 年度調査と比較すると、性別に関わらず「デートDVだと思う」の割合が増加しています。



## 5 自分への評価について

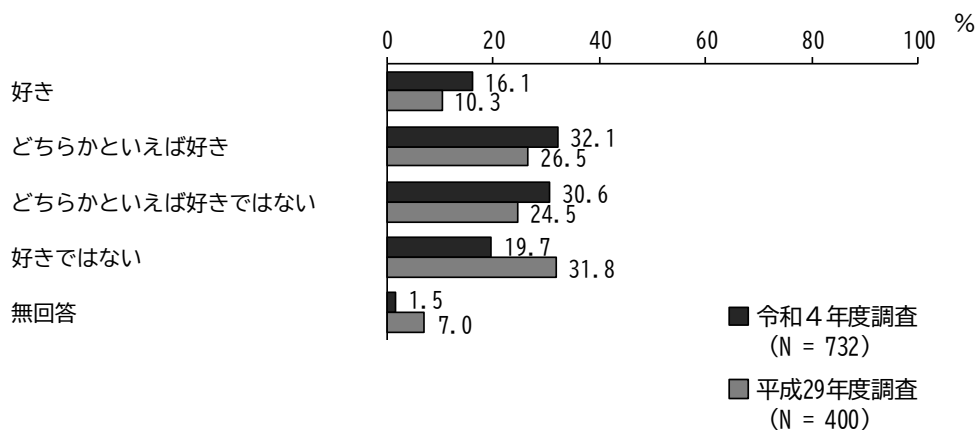
### 問13 あなたは、自分のことが好きですか。(チェックは1つ)

女性では、「どちらかといえば好きではない」の割合が33.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば好き」の割合が28.7%、「好きではない」の割合が25.2%となっています。

男性では、「どちらかといえば好き」の割合が35.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば好きではない」の割合が26.3%、「好き」の割合が21.6%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「好き」、「どちらかといえば好き」、「どちらかといえば好きではない」の割合が増加しています。一方、「好きではない」の割合が減少しています。

#### 【経年】



#### 【性別】

性別でみると、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた“好き”の割合が女性よりも男性の方が高くなっています。

単位：%

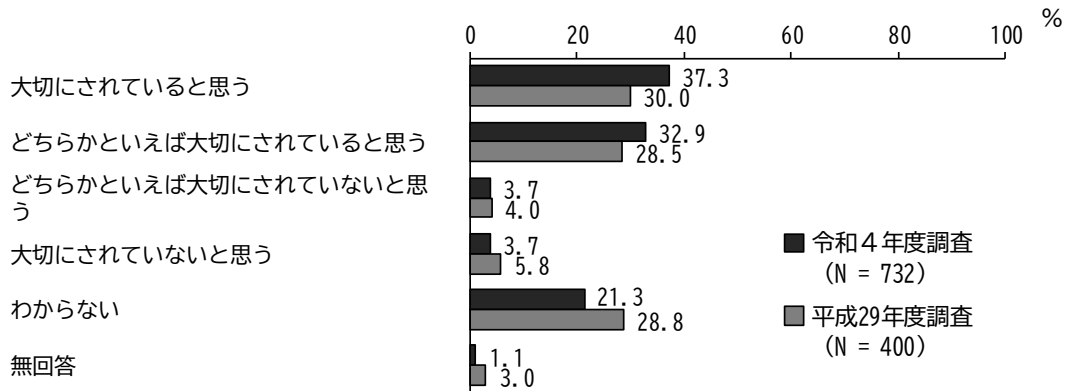
区分	N (件)	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない	無回答
全体	732	16.1	32.1	30.6	19.7	1.5
女性	254	11.0	28.7	33.9	25.2	1.2
男性	255	21.6	35.3	26.3	15.7	1.2
その他	2	50.0	50.0	—	—	—

問14 あなたは、周りのおとなから大切にされていると思いますか。(チェックは1つ)

「大切にされていると思う」の割合が37.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば大切にされていると思う」の割合が32.9%、「わからない」の割合が21.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「大切にされていると思う」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。

【経年】



【性別】

性別で見ると、大きな差はみられません。

単位：%

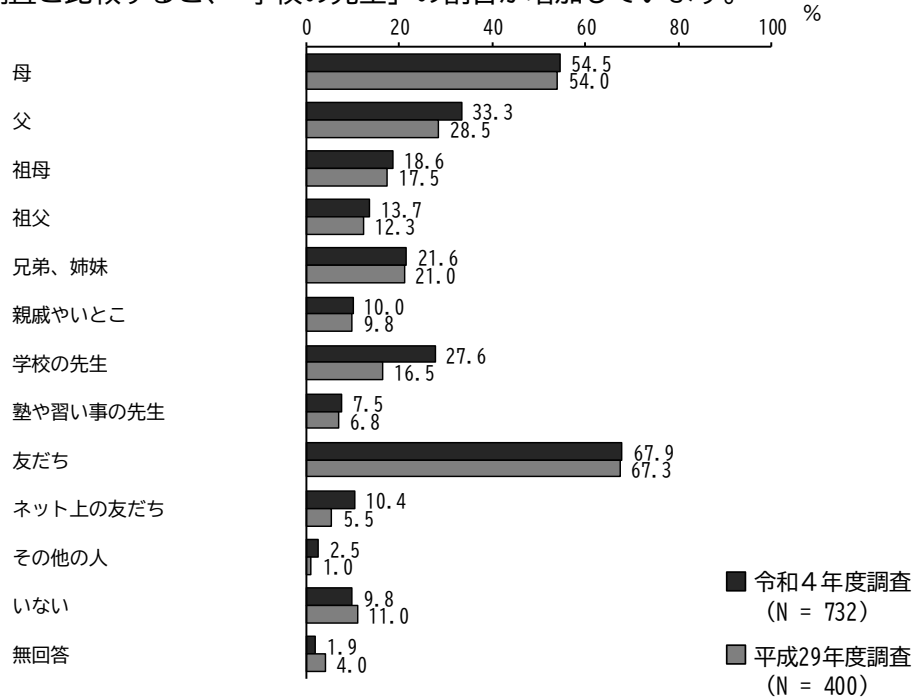
区分	N (件)	大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていないと思う	大切にされていないと思う	わからない	無回答
全体	732	37.3	32.9	3.7	3.7	21.3	1.1
女性	254	37.8	32.3	3.1	3.1	22.8	0.8
男性	255	34.1	34.9	5.9	4.7	19.2	1.2
その他	2	—	50.0	50.0	—	—	—

問15 あなたに悩みや心配事がある時、相談できる人はいますか。(あてはまるものすべてにチェック)

「友だち」の割合が67.9%と最も高く、次いで「母」の割合が54.5%、「父」の割合が33.3%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「学校の先生」の割合が増加しています。

【経年】



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「父」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	N (件)	母	父	祖母	祖父	兄弟、姉妹	親戚やいとこ	学校の先生	塾や習い事の先生	友だち	ネット上の友だち	その他の人	いない	無回答
全体	732	54.5	33.3	18.6	13.7	21.6	10.0	27.6	7.5	67.9	10.4	2.5	9.8	1.9
女性	254	55.1	20.9	17.3	8.3	23.6	8.3	23.2	4.3	64.6	13.0	2.8	11.4	1.6
男性	255	58.0	45.1	20.4	18.4	17.3	12.5	33.3	9.0	73.3	8.6	1.6	8.2	1.6
その他	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-

中学生 問15 その他回答
部活の先輩や後輩
部活の仲間
カウンセラー
恋人
猫、彼氏、
人形

その他 10件



## 6 自由記入

問16 あなたは現在、自分が男性または女性に生まれたことをよかったと思いますか。その理由も記入してください。

「自分が男子または女子に生まれたことをよかったと思いますか。」の問いに対して、428人が回答しています。

### 主な理由

#### 「よかったと思う」

なぜなら力があるのでいろいろな部活に入れたり将来給料もあまり言いたくないけど女性より多いなどの理由で男に生まれてよかったと思います

理由は女子のほうがおしゃれもできるし、ズボンをはけるから

最近はおしゃれとかを聞かないから男に生まれてよかったと思う

おしゃれなどできるし自分の好きなことできるから

自分は男に生まれてとても良かったと思います。何故なら女性の方が苦労していると思ったからです

男女どちらとも楽しいことがあるから多分どっちの性別で生まれていてもよかったと思うから

#### 「どちらともいえない」

理由はただ自分は女性に生まれたから女性の生き方で自分の生き方をしているだけだから

今持っている性を大切に楽しめているから

どうでもいいとかではなくて、どっちに生まれてもよいことはあるから

#### 「思わない」

女子は友達関係とか出産とか女の子らしくなど色々めんどくさい。そもそも性別にとらわれている社会が嫌

#### 「わからない、未記入」

もしこうだったらと思うけど結局は「こうなりたかった」と思う

女性のほうも男性のほうも大変そうだから

